



## 2021年度 事業報告

### Report

【 2021. 4. 1 — 2022. 3. 31 】



#### 「基本理念」

ご利用者の「健やかな生活」の実現のため、心をこめた福祉サービスの提供を  
全力で実行します。

# 2021年度 経営報告

---

**Purpose** 人々の豊かな生活、地域社会、そして日本を支える「福祉」  
私達は「誇り」を持って、日本の福祉を「創造」し、「挑戦」します

---

## 1. 総括

### 《はじめに》

2019年末に始まった新型コロナウイルスの世界的な感染拡大（パンデミック）による日本国内での非常事態宣言、まん延防止重点措置など、当法人各施設・事業所の運営を継続していくには非常に強い逆風の中ではありましたが、高齢者、障がいをお持ちの方々の生活を支える社会福祉事業を運営する法人として、歩みを止めることなく覚悟を持って進んで参りました。

しかし、医学的な根拠に基づく感染対策を徹底したうえで運営を継続してきたつもりではありましたが、度重なる新型コロナウイルス感染者の発生により、生活介護事業所グリーンハイムの2週間に及ぶ事業休止や和幸園短期入所生活介護事業所、グリーンハイム短期入所事業所の事業休止、和幸園デイサービスセンター、和幸園芸術の森デイサービスセンターのえるの森については、事業を縮小した運営を余儀なくされました。さらに、年度末には、特別養護老人ホーム和幸園において、ご利用者・職員を合わせて90名を超える大規模クラスターが発生する事態となりました。感染者となったご利用者のほとんどが施設内療養となったことにより、職員・ご利用者への感染拡大に歯止めがきかず、長期化することとなり、ご利用者の重症化による入院やご逝去される方が出てしまう大惨事となりました。同時に、新型コロナウイルス感染者発生やクラスター発生による経営への影響は甚大なものとなり、非常に厳しい決算を迎えることが予想されましたが、このような時期だからこそ、継続した職員待遇の向上と新型コロナウイルス感染者等に対応した職員への補償に取り組みしました。

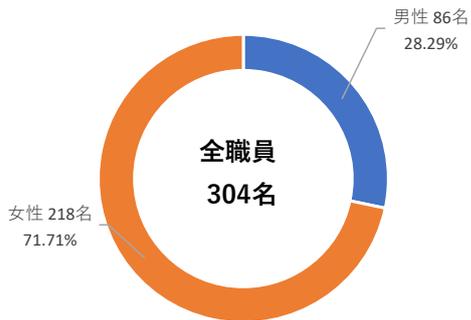
この新型コロナウイルスとの闘いは、2022年度も続きます。新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬の開発が少しずつ進んでおりますが、未だ新型コロナウイルス感染拡大は収束の兆しはなく、施設ご利用者には不便な生活を継続していただいております。大切な人と会えないご利用者の気持ちを思うと、非常に心苦しく思っております。だからこそ、2022年度は少しでもこれまでの生活を取り戻せるように新型コロナウイルスとの共存「ウイズコロナ」を視野に入れた各施設、事業所の運営に取り組んでいきたいと考えております。

当法人が運営する社会福祉事業は、ご利用者である高齢者、障がいをお持ちの方々の生活と地域社会を支える事業です。災害の最中も、困難な事業環境にあったとしても、私たちはお一人おひとりへの支援を続け、行動し続けなければならないと考えています。ご利用者も、職員も、その人らしく豊かな生活を送れるように、着実な法人経営を進めて参ります。

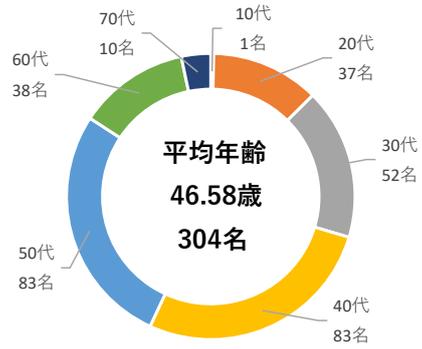
引き続き、皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 2. 法人の基本データ（職員について）

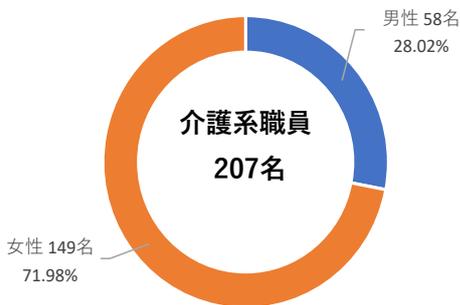
### 職員 男女比



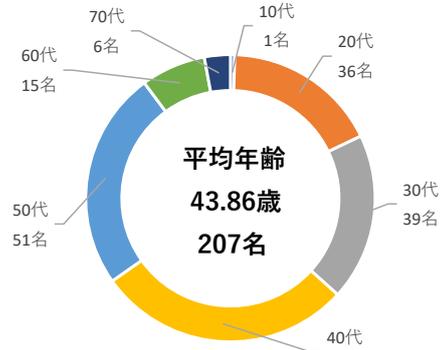
### 職員 年齢構成比



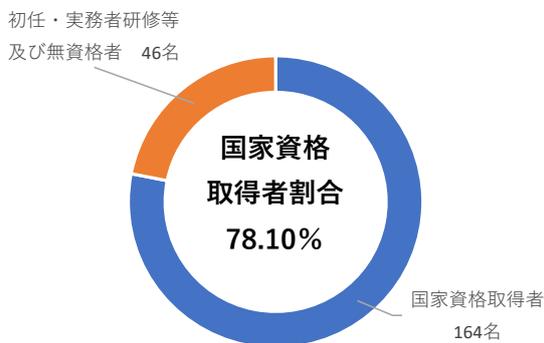
### 介護系職員 男女比



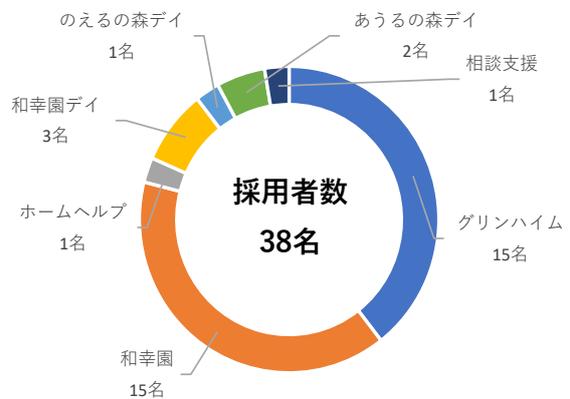
### 介護系職員 年齢構成比



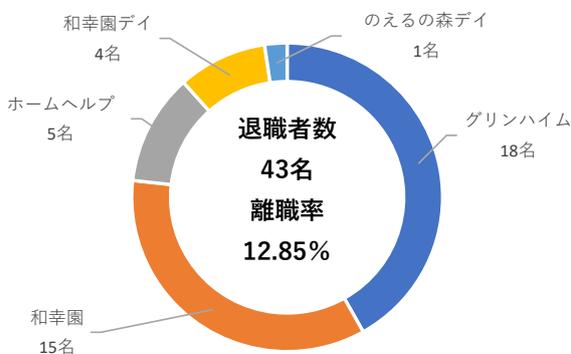
### 介護系職員 国家資格取得者数



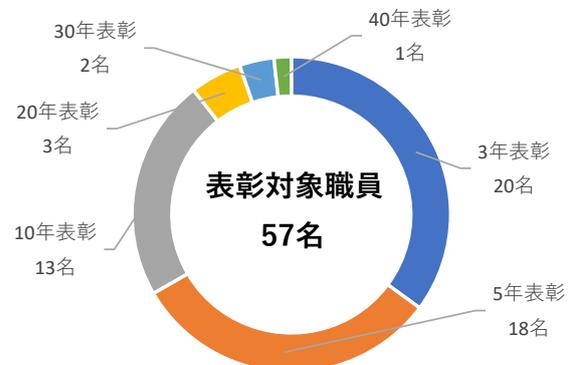
### 年間採用者数



### 年間退職者数



### 永年勤続表彰者



【平均勤続年数】 7.83年

【障がい者の雇用率】 3.17% (8名雇用) (法定雇用率2.30%/民間企業平均2.20%)

### 3. 法人運営の成果と課題 ～ 5つの視点に基づき ～

#### (1) 利用者視点

施設入居者には大切な人と会えない等の制限のある生活を、そして在宅事業では、通所事業のご利用者には活動性や交流の機会が少ない中でのサービス提供をせざるを得ない状況となってしまいました。そのような中ではありましたが、各施設、各事業所において、個別ケアの推進、グループケア、ユニットケアの充実等、ご利用者のQOLの向上に努めました。また、1年を通じて、職員やそのご家族、ご利用者等に新型コロナウイルス感染者が発生する中で、感染対策を徹底し、可能な限り事業を休止することなく継続していくことに努めました。

- ◆ 和幸園「自立支援介護」の実践と「日中おむつゼロ」を継続しました。
- ◆ 年度の途中で、主の協力医療機関と配置医を医療法人溪仁会定山溪病院へ移行することとなりましたが、大きな問題もなくご利用者の健康管理とターミナルケアの継続ができました。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染対策の徹底と入居ご利用者のご家族との面会及び外出を適時実施しました。
- ◆ 通所事業部、地域事業部ともに、ご自宅での生活を継続できるように、新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、相談支援、通所介護、訪問介護、介護予防事業を実施しました。

#### 【課題】

- ◆ 新型コロナウイルスへの対応を継続したうえで、少しでも以前の生活を取り戻せるように新型コロナウイルスとの共存も視野に各施設、各事業所において新様式でのサービス提供に取り組みます。
- ◆ 地域でのニーズ調査を行ったうえで、各施設・事業所の特色や付加価値を明確にし、他事業所との差別化に取り組みます。
- ◆ ご利用者、ご家族とのコミュニケーションを深め、ミスコミュニケーションによるトラブル等が発生しないように、丁寧な説明と確認、情報の共有を徹底します。

#### (2) 財務視点

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活介護事業所グリーンハイムの2週間に及ぶ事業休止や和幸園短期入所生活介護事業所、グリーンハイム短期入所事業所の事業休止、和幸園デイサービスセンター、和幸園芸術の森デイサービスセンターのえるの森については、事業を縮小した運営を余儀なくされました。さらに、年度末には、特別養護老人ホーム和幸園において、ご利用者・職員を合わせて90名を超える大規模クラスターが発生する事態となり、各施設・事業所において利用稼働が大きく低下することとなりました。そのような中で、職員への待遇向上、新型コロナウイルス対応に係る特別手当の支給等を実施しながらも、法人全体では修繕費積立資産10,000千円を積立てて、当期資金収支差額39,676千円と堅調な経営を継続することができました。

- ◆ 和幸園指定居宅介護支援事業所及び相談支援事業所グリーンハイムは、1年を通じて安定した利用者の確保と支出の管理ができたことで、両事業所ともに当期資金収支差額合計で3,000千円を超える黒字決算となった。
- ◆ 相談支援事業所グリーンハイムは、札幌市障がい者相談支援事業実施業務（南区）委託プロポーザルで選考され、2022年度より札幌市障がい者相談支援事業実施業務（南区）を受託することができました。

- ◆ 和幸園自立訓練型デイサービスセンターあうるの森は、基本ケアを中心としたリハビリ特化型のデイサービスとして、外での歩行訓練が実施できる事業所として他事業所との差別化に成功し、新型コロナウイルス禍での利用実績の向上を達成しました。
- ◆ 新型コロナウイルス関連補助金等も含め、各種補助事業に申請し、新型コロナウイルス対応に係る経費、介護負担軽減に係る機器購入経費、職員採用に係る経費等、17,000千円を超える補助金の交付を受けることができました。

#### 【課題】

- ◆ 各施設、事業所の経営実績としては、新型コロナウイルスの影響もあり、低下傾向となっています。ウイズコロナ、アフターコロナを視野に、ご利用者が以前の生活を取り戻せるようなケアの方法を検討し、実践します。
- ◆ 通所系事業所においては、ウイズコロナでの事業運営を展開するとともに、各事業所の特色、強み、付加価値の確立と情報発信力の向上（他施設・事業所サービスとの差別化）に取り組めます。
- ◆ 訪問系事業所においては、ホームヘルパーの確保が困難な状況となっていることと介護報酬の減額等により、経営基盤が脆弱となっています。職員体制を縮小し、持続可能な経営スタイルの検討をします。
- ◆ 在宅事業の活性化を目的とした和幸園指定居宅介護支援事業所及び相談支援事業所グリーンハムの職員体制の強化を検討します。

### (3) 人材視点（採用力と定着力の強化）

介護人材の不足による職員採用に苦慮している状況でありながらも、1年を通じて38名の職員を採用することができました。新卒者の採用については、2020年度4名、2021年度3名、2022年度4名と継続して採用することができました。一方で、1年を通じて退職者が43名となっており、離職率は12.85%となりました。介護職員の離職率は、全国平均では14.90%（介護労働安定センター2020年度調査）と全国平均を下回る結果となりましたが、未だ職員の定着に課題を残しています。

- ◆ 処遇改善加算、特定処遇改善加算、さらに2022年2月からは処遇改善支援交付金を活用した待遇改善を実施しました（パート職員の時給アップ、処遇改善給付金の増額、Hero's ボーナスの支給等）。
- ◆ 職員育成、資格取得支援のための施策として、法人全体研修（リモート研修）、新人職員向け研修会、事業所内研修等を実施するとともに、職員個々のキャリアアップのための実務者研修の受講支援、介護福祉士受験対策学習会を開催し、11名の受講者のうち10名の国家資格合格者を輩出しました。
- ◆ 各施設において、補助金を活用した介護ロボット導入による介護負担軽減に取り組み、移乗用機器、見守りセンサー付ベッドやマットレス、自動体交マットレス等を導入しました。
- ◆ 新型コロナウイルス感染者等となったご利用者へのケアに携わる職員への特別危険手当の支給、住居の確保等、新型コロナウイルス対策事業として法人独自の施策を実践しました。

#### 【課題】

- ◆ 定着率の向上を目指して、各施設、事業所、職種における離職課題の明確化と人事評価システムの再評価、職員待遇と職場環境の改善に向けた取り組みを実施します（各施設、事業所の離

職率:障がい者支援施設グリーンハイムが19.10%、特別養護老人ホーム和幸園が10.85%、ホームヘルプサービス事業所で20.0%、和幸園デイサービスセンターで16.67%)。

- ◆ 介護負担軽減のための介護ロボットの導入とICTの導入に取り組み、さらなる職場環境の改善に取り組みます。

#### (4) 地域視点

当法人では、2007年より約14年に亘り、法人の資源(人材・資金・備品)を活用した地域貢献活動として、地域の高齢者、障がいをお持ちの方々の外出支援を行う「いしやま朝市送迎バス」の運行、認知症の高齢者の介護をしているご家族(地域の方)を対象とした「認知症状改善塾」、イオン藻岩店様と連携し、地域の方々が買い物の際に気軽に相談できる場所づくりとした「介護なんでも相談会」(1回/月)の開催を中心に各種地域貢献活動を実践してきましたが、2021年度については、新型コロナウイルスの感染拡大により、全ての地域貢献活動を自粛しました。2022年度については、新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、持続可能な地域貢献活動の検討を進めます。

#### (5) ガバナンス視点

2021年度は、社会福祉法等に基づき、定時評議員会・理事会(決議省略含む)を開催し、予算、事業計画、決算、事業報告、各種規程の改正、法人及び事業所の経営上の重要事項の審議、決定を行いました。また、会計、サービス内容の両面にわたる経営と運営の適正化に向けた監事監査を定期的にも実施しました。会計関係については、毎月顧問会計事務所による監査、助言、指導を受け、より正確な会計管理を実践しました。

その他、情報公開(定款、各種規程等、事業計画、予算、事業報告、決算等、介護職員処遇改善計画等)、アカウントビリティ(説明責任)の推進のため、内部ではインフォメーション、ネットワーク等を活用し、外部へはホームページや広報誌「かけはし」、Facebook等により情報発信を図り、透明性の高い法人経営に取り組みました。次年度は、ホームページや広報誌のリニューアル、幅を広げたSNSの活用により、さらなる情報発信活動に取り組みます。

## 法 人 事 務 局

### 1. 事業報告総括(事務局、経理、総務、管理)

法人事務局では、定時評議員会、理事会において、予算、事業計画、決算、事業報告、定款・規程の改正、法人及び事業所の経営上の重要事項の審議、決定を行うための運営を適正に執行しました。また、法人の健全経営、透明性の高い運営に向けた施策への支援及び円滑な法人運営のための環境整備に取り組みました。

経理部門については、顧問会計事務所の定期的な監査を受け、助言を得ながら正確、適正な会計処理を実践しました。また、総務部門については、給与ソフトによる給与計算の短時間化や働き方改革に対応した職員の勤務状況の把握、改善に努めました。また、顧問社会保険労務士の助言、指導を受け、法・制度に対応した規程の整備にも取り組みました。その他、各種助成金の申請や届出業務、ご利用者の預り金管理業務を適正に実施しました。管理部門については、防災関係、施設設備、車輛関係に係る維持管理業務を行いました。

2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、事務喫茶等のご利用者支援への参画は縮小することとなりました。一方で、新型コロナウイルス感染対策として施設内共有部分の定時での消毒清掃や注意喚起の館内放送の実施、職員を対象としたPCR検査（法人独自及び札幌市スクリーニング検査）の事務手続き及び検体採取、提出等を担当しました。また、国、地方公共団体等が実施する各種補助金（新型コロナウイルス対策含む）を活用し、法人全体で15,000千円を超える補助金の交付を受け、介護ロボットの導入、感染対策備品の購入、ご利用者が感染した場合の危険手当や住宅貸与等の経費、職員紹介手数料等による法人経営への影響を最小限に抑えることができました。

## 2. 法人運営状況

### (1) 役員体制

役職	氏名	職業	任期
理事長	太田三夫	学識経験者：太田遠藤法律事務所 弁護士	2021. 6. 15 ～ 2023. 6
常務理事	平松朋紀	職員：総合施設長・法人事務局長	2021. 6. 15 ～ 2023. 6
理事	大沼百合子	学識経験者：当法人元常務理事	2021. 6. 15 ～ 2023. 6
〃	石川秀也	学識経験者：北海道医療大学 非常勤講師	2021. 6. 15 ～ 2023. 6
〃	檜森道子	学識経験者：当法人元地域事業部部長	2021. 6. 15 ～ 2023. 6
〃	星野八重子	職員：和幸園施設長	2021. 6. 15 ～ 2023. 6
監事	土肥富彦	学識経験者：他社会福祉法人施設長経験者	2021. 6. 15 ～ 2023. 6
〃	石川由男	財務学識経験者：春野会計事務所 代表税理士	2021. 6. 15 ～ 2023. 6

### (2) 理事会開催状況

- 第1回 2021年5月29日（土）決議省略：書面  
 太田三夫、平松朋紀、大沼百合子、石川秀也、檜森道子、星野八重子（理事6名：同意書）  
 土肥富彦、石川由男（監事2名：確認書）  
 議案内容 2020年度事業報告（案）について  
 2020年度決算報告（案）について  
 監事監査（2020年度全般）結果について  
 新役員（理事・監事）候補者の選定について  
 定時評議員会の開催について
- 第2回 2021年6月15日（火）決議省略：書面  
 太田三夫、平松朋紀、大沼百合子、石川秀也、檜森道子、星野八重子（理事6名：同意書）  
 土肥富彦、石川由男（監事2名：確認書）  
 議案内容 理事長の選任について  
 常務理事の選任について
- 第3回 2021年10月1日（金）決議省略：書面  
 太田三夫、平松朋紀、大沼百合子、石川秀也、檜森道子、星野八重子（理事6名：同意書）  
 土肥富彦、石川由男（監事2名：確認書）  
 議案内容 2021年度第1次収支補正予算（案）について  
 就業規則の改正について

第4回 2021年12月17日(金) 決議省略：書面  
太田三夫、平松朋紀、大沼百合子、石川秀也、檜森道子、星野八重子(理事6名：同意書)  
土肥富彦、石川由男(監事2名：確認書)  
議案内容 札幌市障がい者相談支援事業(南区)受託申請について  
諸規程の改正について  
厨房業務委託契約の更新について

第5回 2022年3月22日(火) 決議省略：書面  
太田三夫、平松朋紀、大沼百合子、石川秀也、檜森道子、星野八重子(理事6名：同意書)  
土肥富彦、石川由男(監事2名：確認書)  
議案内容 2022年度事業計画(案)について  
2022年度収支予算(案)について  
定款の改正について  
給与規程の改正について

(決議省略理事会において、書面にて法人の経営・運営状況及び理事長及び常務理事の職務執行状況について報告)

### (3) 評議員会開催状況

第1回 2021年5月29日(土) 決議省略：書面  
浅香博文、岩本龍明、大磯英太郎、北山和子、塩田恒雄、千葉徹、西村稔、福士昭夫  
(評議員8名：同意書)  
議案内容 2020年度事業報告(案)について  
2020年度決算報告(案)について  
監事監査(2020年度全般)結果について  
次期役員(理事・監事)の選任について

(決議省略評議員会において、書面にて法人経営・運営状況及び理事長及び常務理事の職務執行状況について報告するとともに、2022年度事業計画・収支予算、相談支援事業所グリーンハイムの札幌市障がい者相談支援事業実施業務の受託について書面にて報告)

### (4) 評議員選任・解任委員会開催状況

第1回 2021年4月30日(金) 障がい者支援施設グリーンハイム会議室  
土肥富彦、石川由男(各監事) / 吉山直子、伊藤新一郎(外部委員)  
吉田司(職員)  
議案内容 評議員の選任について

### (5) 監事監査実施状況

第1回 2021年 5月21日(決算) 第2回 2021年 9月24日(定期)  
第3回 2021年12月 8日(定期) 第4回 2021年 3月18日(定期)

### (6) 各種指導監査

- ① 2021年度 社会福祉法人及び社会福祉施設の指導監査：札幌市 文書指導事項なし
- ② 2021年度 特定(多数) 給食施設指導監査：札幌市 文書指導事項なし
- ③ 2021年度 企業主導型保育事業指導監査：(独) 児童育成協会 文書指導事項なし

## (7) 防災訓練実施状況

実施日	実施内容	
2021年 7月16日(金)	<b>【火災避難訓練】</b> 初期消火・通報・ご利用者の避難誘導訓練	グリンハイムより出火想定訓練(和幸園合同) ①出火想定時間及び場所 夜間想定 午後11時00分 グリンハイム本館2階北側居室237号室 ②他階及びデイサービスでは日中想定訓練 (午前11時00分)
2021年 7月16日(金)	<b>【土砂災害時避難訓練】</b> ご利用者の避難訓練及び建物・外周の状態確認	集中豪雨発生による危険個所の探索及びBCP発動の想定訓練(和幸園) ①集中豪雨発生時間及び場所 日中想定 午前11時00分 札幌市内
2021年 7月20日(火)	<b>【土砂災害時避難訓練】</b> ご利用者の避難訓練(机上訓練)及び建物・外周の状態確認	集中豪雨発生による危険個所の探索及びBCP発動の机上訓練 (グリンハイム・和幸園・生活介護事業所、和幸園デイ、のえるの森デイ) ①集中豪雨発生時間及び場所 日中想定 午前10時30分 札幌市内
2021年10月15日(金)	<b>【火災避難訓練】</b> 初期消火・通報・ご利用者の避難誘導訓練	和幸園より出火想定訓練(グリンハイム合同) ①出火想定時間及び場所 夜間想定 午後11時00分 和幸園(4階)4条3丁目10番地(居室) ②他階及びデイサービスでは日中想定訓練 (午前11時00分)
2021年10月15日(金)	<b>【土砂災害時避難訓練】</b> ご利用者の避難訓練及び建物・外周の状態確認	集中豪雨発生による危険個所の探索及びBCP発動の想定訓練(グリンハイム) ①集中豪雨発生時間及び場所 日中想定 午前11時00分 札幌市内
2021年11月11日(木)	<b>【緊急連絡・参集訓練】</b> 緊急連絡網による緊急連絡	地震発生により、ブラックアウトとなったことを想定した緊急連絡訓練 (午後6時30分から連絡開始)
2021年12月 3日(金)	<b>【地震災害時避難訓練】</b> ご利用者の避難訓練及び建物・外周の状態確認	地震発生による危険個所の探索及びBCP発動の想定訓練(グリンハイム) ①地震発生時間及び場所 日中想定 午後2時00分 札幌市内
新型コロナウイルス感染拡大のため中止	<b>【他施設との共同避難訓練】</b> 地震による災害時緊急避難訓練	震度6の地震発生による他施設からの避難者受け入れ訓練(または他施設ご利用者受け入れ訓練)

(8) 業務委託状況

業務内容	業務委託先
施設厨房業務	(株) エムズフード
夜間警備業務	北海道東急ビルマネジメント (株)
送迎車輛運転業務	北海道東急ビルマネジメント (株)
清掃業務	(株) シムス
昇降機定期点検業務	SEC エレベーター (株) 三菱電機ビルテクノサービス (株)
専用水道水質検査業務	(財) 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
自動ドア保守点検業務	フルテック (株)
非常火災設備保守点検業務	(株) ネットワークイン
冬期除雪業務	(有) グッドウイング
デジタル交換機保守	新日本通信工業(株)
税務・会計顧問	平田清悦税理士事務所 (旧税理士法人幌西会計)
労務・総務顧問	社会保険労務士事業所テラス
職員検診	医療法人社団明日佳 札幌検診センター
ストレスチェック	医療法人社団五稜会 札幌 CBT&EAP センター

## (9) 法人建物・車輛の維持管理

## ① 建物

実施内容		
年 間	電気設備点検及び屋上非常用発電機 専用水道水質検査	北海道電気保安協会 (財) (財) 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
4月	貯水槽清掃	(株) 小川技研
6月	厨房用ヒートポンプ外調機点検整備 汚水槽清掃点検	正栄機工 (株) (株) 小川技研
8月	エコキュート点検整備	(株) 前川製作所
9月	消防用設備保守点検及び屋上非常用発電機	(株) ネットワークイン
10月	厨房繰りストラップ清掃	(株) 小川技研
11月	厨房用ヒートポンプ外調機点検整備	正栄機工 (株)
12月	エコキュート点検整備	(株) 前川製作所
1月	汚水槽清掃点検	(株) 小川技研
3月	2号ボイラー点検整備	(株) NTEC サービス
年4回程度	暖房用非常用発電機 (非常用発電機試運転)	法人担当職員

## ② 車輛

車輛台数 30台 (内リース車両 21台) / 車検 16台実施

所 属	台 数
グリーンハイム・和幸園職員送迎バス	1台
障がい者支援施設グリーンハイム	4台
特別養護老人ホーム和幸園	3台
和幸園デイサービスセンター	6台
生活介護事業所グリーンハイム	3台
和幸園芸術の森デイサービスセンター のえるの森	3台
和幸園指定居宅介護支援事業所	4台
グリーンハイム・和幸園ホームヘルプサービス事業所	4台
和幸園自立訓練型デイサービスセンター あうるの森	2台
計	30台

**(10) ご利用者預り金管理**

区 分	預り人数	預り金残高 (2022.3.31)
グリーンハイム	75名	172,224,607円
和幸園	1名	64,354円

**(11) 法人研修 (ZOOMによるオンライン研修) ※他法人職員公開研修**

NO	研修名	開催状況
1	アンガーマネジメント (不適切なケアの防止) 講師 長谷川久美子 氏 (会社名: PLUS M)	2021年9月30日 18:10~19:30 参加者 80名
2	虐待防止の基本的な理解 講師 池田ひろみ 氏 (会社名: 合同会社うえるかむ)	2021年11月5日 15:00~16:00 参加者 83名
3	交通安全講習会 講師 AIG損害保険株式会社	2021年11月22日 18:00~19:00 運転業務従事者
4	仕事効率をUP! 整理収納のコツ 講師 藤岡聖子 氏 (会社名: 横浜Tキューブ・スタイル)	2021年12月13日 18:10~19:30 参加者 56名
5	介護サービスのリスクマネジメント 講師 山田滋 氏 (会社名: (株)安全な介護)	2022年1月19日 18:10~19:30 参加者 59名
6	介護福祉士受験対策講座	法人内での新型コロナウイルス発生により中止
7	ストレスマネジメント	法人内での新型コロナウイルス発生により中止
8	介護福祉士受験対策講座 講師 法人職員	2021年8月~2022年1月 参加者 11名 (10名合格、1名未受験)

**(12) 地域貢献活動**

石山8区町内会ゴミ拾いのみ参加しましたが、下記の定例地域貢献活動は新型コロナウイルス感染対策のため全て中止としました。来年度に向けて、新型コロナウイルス禍での実施方法を検討していきます。

- ・介護なんでも相談会 (イオン藻岩店様店内特設ブースにて相談会を開催)
- ・認知症状改善塾
- ・いしやま朝市送迎バス
- ・地域福祉活動 (町内会ゴミ拾い等)

**(13) 広報活動 (広報委員会)**

- ・広報誌「かけはし」の作成 (年2回発行)

2021年8月発行 (53号)、2021年12月発行 (54号)

- ・ホームページ及びFacebookの運営

---

## 各施設及び各職域の事業報告

---

### 障がい者支援施設グリーンハイム ～ since 1973 ～

#### 1. 事業報告総括

2021年度の施設運営の柱として、「感染症対策」、「接遇の向上と各種委員会の活性化（不適切ケア・虐待の防止）」、「施設経営の安定化」の3点を掲げ、新体制の組織強化を図り、法人の基本理念に基づき施設運営を行いました。

2021年度も新型コロナウイルス感染症収束の兆しは見られず、札幌市内においても感染の波は押し寄せ、「まん延防止等重点措置」も発令されました。当施設内でも、職員一丸となり感染対策の徹底に取り組みましたが、職員の感染が発生する度に、保健所の指導の下でゾーニング（隔離対応）が実施され、3月にはクラスターの発生もありました。それにより、ご利用者ご家族の皆様には多大なご心配をおかけすることとなりました。このように、新型コロナウイルスと対峙する一年とはなりましたが、その時々々の社会情勢、法人内感染状況に合わせ、面会及び外出の再開に努めました。感染者の減少傾向の見られない現在は、まだ外出の再開には至っておりませんが、面会については、リモート面会に合わせ、厳密な感染対策のうえで面会を再開しています。ご利用者、ご家族からは、様々なご要望をいただいております。感染状況を鑑みて、ご要望に沿えるように対応していきます。

各種委員会の取り組みとしては、介護系の委員構成をキャリア職員に定めて、任期を2年に変更することで、委員による周知活動と各グループでの実践の定着を目指しました。まずは、委員が各委員会の目的、目標の理解を深めることができるようにディスカッション形式で委員会を運営するとともに、各委員が委員会での学びをグループに持ち帰り、職員一人一人の実践に結び付けていけるように取り組みました。一年目の成果として実感できている委員もおり、今後継続して職員個々のレベルアップを目指していきます。

施設経営の安定化については、新型コロナウイルス感染症により、入退院の調整に時間を費やすことやショートステイ事業の休止期間もあり、予測に反した事態が発生しました。その中で、動画等による施設見学対応と周知活動の取り組むとともに、問い合わせへの円滑な対応を心掛けました。今後も継続課題である待機者確保に向けた周知活動を行うとともに、これまで実践してきた入居及びショートステイのベッド管理の徹底と支出に係る予算管理の徹底を図っていきます。

最後に、新型コロナウイルス感染者発生時、ご利用者には制限された空間で、感染の恐怖と隣り合わせでの生活となりました。私たちにとっても、未知の感染症と向き合う中で、いかに職員とご利用者の信頼関係が大切で、専門職としての技術が必要とされるかを指し示す状況にもなりました。当然、課題は見られましたが、職員が前を向いて頑張ってくれたことは、個々の専門性と様々な取り組みの成果であったと考えています。

次年度は、役職者と現場職員が向き合うことができる体制のさらなる強化を図るとともにご利用者が安心して支援を受けることができ、また職員が安心して働くことができるために安定した経営を実現します。

## 2. 法人の5つの視点に対する取り組み

### (1) 利用者視点

- ・2017年度より継続的に取り組んでいる接遇については、委員会活動が定着し、職員一人ひとりが、どのような姿勢でご利用者と接すべきなのか、各グループや職域毎に定めている接遇目標を通して実践を重ねました。
- ・虐待防止については、前年度の虐待防止チェックリストの分析結果に基づき、接遇委員会とも連携しながら虐待防止に関わる知識の情報発信や研修を実施しました。
- ・身体拘束の適正化については、2022年度より身体拘束等適正化指針の策定や研修の実施等が義務化されることに伴い、虐待防止委員会内に身体拘束等適正化委員会を設置し、指針に基づきながら取り組みを行っていく準備を実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染対策により、2021年度もレクリエーション活動はグループ単位での実施となりましたが、ZOOM等を活用し、施設全体で楽しんでいただけるような行事を企画、実施することができました。
- ・ご家族等の面会については、市内の感染状況を踏まえながら、まん延防止等重点措置の解除後、早期に再開しました。
- ・2021年度は、1名のご利用者がグリーンハイムで最期を迎え、看取り介護を実践しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、ご家族との面会等に制約がある状況下ではありましたが、多職種が連携し、ご本人、ご家族に寄り添いながら支援しました。

### (2) 財務視点

2021年度は、施設入居稼働率97.81%、ショートステイ稼働率116.23%という結果になりました。施設内における新型コロナウイルス感染者の発生により、グループ閉鎖、ショートステイ事業の休止等、実績低下を免れない状況がありましたが、介護職員、看護師を中心として適切な感染拡大防止対策を講じることで、早期に事業を再開することができ、施設入居は実績目標に届きませんでした。空床ベッド等でのショートステイご利用者の受け入れにより、総合的に実績目標を達成できました。入居待機者については、女性の待機者確保が急務となっているため、引き続き関係機関への周知活動を継続していく必要があります。また、ショートステイご利用者で廃止（予定）者が見込まれることから、ご利用者の確保に向けて取り組みます。

次年度は、施設入居の待機者、ショートステイのご利用者確保に向けて、相談支援事業所や医療機関等の関係機関への周知活動を継続していく必要があります。法人ホームページや札幌市で開設している「元気さーち」等のツールも活用していきます。各種加算については、書面等の整備を含め、適切に対応しています。引き続き、加算等の算定要件を確認しながら、適正な運営を継続します。

### (3) 人材視点

2021年度は、職員の休職や退職が相次ぎ、職員体制の再構築が急務な状況となりました。職員採用を進めるとともに、採用した職員の育成を適切に行い、安定した施設運営に取り組みます。

#### (4) 地域貢献視点

施設入居、ショートステイ事業、入浴サービス事業を継続するとともに、主たる介護者の入院等、緊急性が高いケースの受け入れを行う等、専門職としての知識、技術を発揮し、地域における社会資源としての役割を果たしました。引き続き、地域住民が安心して利用できる社会資源としてサービス提供を継続するとともに、虐待による緊急一時保護等、緊急性の高いケースにも迅速に対応します。

#### (5) ガバナンス視点

2021年度の制度改正内容を踏まえながら、施設サービス提供に係る契約書類、実績記録、個別支援計画をはじめとする各種記録の同意、日々の業務やご利用者の経過等の記録等整備に努めてました。引き続き、書類の整備や適切な記録を行い、入居者、ご家族への記録の開示、行政や関係機関からの記録、書類の照会や実地指導等に対応できる体制構築に向けて取り組みます。

### 3. 事業運営状況

#### (1) 専門職の配置状況

2022年3月31日現在

職名	配置基準数	現員数	備考
施設長	1名	1名	社会福祉士／精神保健福祉士／介護福祉士 サービス管理責任者兼務
サービス管理責任者	2名	2名	社会福祉士2名／精神保健福祉士1名 管理者兼務1名
生活支援員（相談）	57.2名 (常勤換算)	2名	社会福祉士2名／精神保健福祉士1名
生活支援員（介護）		57名	常勤48名、非常勤9名：介護福祉士38名／精神保健福祉士1名、社会福祉士1名
看護職員		12名	併設施設兼務10名、夜勤専従2名 (常勤換算5.2名 うち生活介護2.7名)
機能訓練指導員		1名	理学療法士
医師	1名	2名	定山溪病院 配置医（週1回往診）
管理栄養士	1名	1名	

#### (2) 職員配置比率（定員／入居100名、短期4名）

職種	常勤換算	算出基準	配置比率
生活支援員（相談）	2.0名	97.4名/60.6名 (基準 97.4名/1.7=57.29名)	1.61名
生活支援員（介護）	54.9名		
看護職員	2.7名		
理学療法士	1.0名		
計	60.6名	※2021年度 生活介護事業実績を基準	

※ 加算基準では前年度実績入居者数を1.7で除した数値以上となっている。

### (3) 職員研修実施状況

開催日	研修名	講師	参加職種
2021年 5月19日	職員接遇研修 オンライン研修	合同会社うえるかむ 代表 池田 ひろみ	接遇委員会（介護員、相談員、 看護師、栄養士、理学療法士）
7月21日	職員接遇研修 オンライン研修	合同会社うえるかむ 代表 池田 ひろみ	
9月15日	職員接遇研修 オンライン研修	合同会社うえるかむ 代表 池田 ひろみ	
12月24日	パワーハラスメント研修	社会保険労務士	リーダー職
毎月	緊急時訓練対応訓練	リスクマネジメント委員	毎月グループ持ち回り
随時	プリセプター研修	介護係長	介護員
随時	障害の理解	施設長	介護員
随時	排泄委員会 オンライン研修	リフレオムツサポーター	排泄委員
随時	介護技術研修（全5回）	リーダー職	新人介護員
随時	摂食・嚥下について	介護係長	新人介護員
随時	車椅子について	機能訓練師	新人介護員
随時	口腔ケアについて	歯科衛生士	新人介護員
随時	排泄について オンライン研修	リフレオムツサポーター	新人介護員
毎月	緊急時対応訓練（窒息等）	リスクマネジメント委員	毎月グループ持ち回り

### (4) ご利用者状況

#### ① 入退居状況

	2021. 4. 1	2021. 4. 1 ~ 2022. 3. 31		2022. 3. 31
	在籍者	入居	退居	在籍者
男性	54	3	4	53
女性	46	6	4	48
計	100	9	8	101

#### ② 退居理由

区分	男性	女性	計
死亡	2	1	3
他の施設・病院	2	2	4
家庭復帰（地域移行）	0	0	0
計	4	3	7

③ 月別利用稼働率（定員／入居100人、短期4人）

	入 居			短 期		
	2021年度	2020年度	2019年度	2021年度	2020年度	2019年度
4月	97.47%	98.20%	98.60%	148.33%	106.67%	109.17%
5月	97.65%	98.23%	99.00%	66.13%	130.65%	110.48%
6月	97.93%	99.87%	99.70%	56.67%	130.00%	106.67%
7月	97.87%	98.16%	97.81%	131.45%	128.23%	131.45%
8月	97.58%	99.06%	96.32%	136.29%	127.42%	132.26%
9月	98.67%	97.27%	96.23%	131.67%	136.67%	150.83%
10月	95.68%	97.65%	97.97%	151.61%	148.39%	145.97%
11月	96.53%	96.07%	99.47%	130.83%	107.50%	135.00%
12月	97.29%	98.55%	98.03%	117.74%	140.32%	133.06%
1月	99.32%	97.84%	99.65%	111.29%	156.45%	122.58%
2月	99.32%	98.18%	99.28%	115.18%	153.57%	133.62%
3月	98.48%	97.52%	96.81%	97.58%	160.48%	129.84%
計	97.81%	98.05%	98.24%	116.23%	135.55%	128.42%

④ 年齢別状況

	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	計
男性	0	0	6	15	13	6	13	0	53
女性	0	1	5	8	8	8	13	5	48
計	0	1	11	23	21	14	26	5	101

⑤ 利用期間状況

	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	25年以上	計
男性	3	9	11	11	11	2	0	6	53
女性	5	6	5	7	9	1	2	13	48
計	8	15	16	18	20	3	2	19	101

⑥ 障がい支援区分

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	4	13	11	25	53
女性	0	6	13	29	48
計	4	19	24	54	101

⑦ ショートステイ（短期）実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
													2021	2020
男性	11	7	6	10	11	10	11	10	9	10	10	10	115	130
女性	7	8	5	10	8	6	7	10	8	8	7	5	89	98
計	18	15	11	20	19	16	18	20	17	18	17	15	204	228
利用日数	176	82	68	163	172	161	188	159	150	140	128	121	1,708	1,974

実利用人数：26名(2020年度 26名)

⑧ 訪問（面会）の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
													2021	2020
延べ人数	0	0	0	0	0	0	26	30	19	7	0	7	89	120
実ご利用者数	0	0	0	0	0	0	22	22	18	7	0	7	76	80

⑨ 外出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
													2021	2020
男性	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6	0
女性	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	8	1
計	0	0	0	0	0	0	0	7	6	1	0	0	14	1

※2020年度 実人員1人(ご親族の葬儀参列)

⑩ 外泊状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
													2021	2020
外泊延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外泊延日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

※2020年度 実人員1人(ご親族の葬儀参列)

⑪ 通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
													2021	2020
件数	38	30	27	48	46	56	58	52	63	51	35	38	542	404
実人数	29	19	24	33	30	36	31	37	40	38	25	25	367	301

⑫ 入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
													2021	2020
入院者	6	5	5	9	8	4	11	9	11	5	5	5	83	82
延日数	93	92	90	118	108	99	172	163	124	67	75	85	1,286	1,180

⑬ 事故報告件数

	事故件数		施設外医療機関対応	
	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度
転倒・転落	37	57	6	4
服薬	43	51	0	0
異食	0	0	0	0
介護	8	8	1	1
誤嚥	2	0	1	1
備品破損・紛失	5	12	0	0
私物破損・紛失	11	12	0	0
その他	22	27	2	2
計	128	167	10	8

ヒヤリハット件数	2021年度	2020年度
		1,349

⑭ 苦情受付件数

	件数
食事に関すること	0
設備に関すること	0
行事・活動に関すること	0
職員に関すること	0
ご利用者に関すること	0
その他	0
計	0

(5) 年間行事報告

行事名	実施日	内 容
ご当地フェア	4月22日、5月21日	エムズフード主催 全国ご当地メニュー
天ぷらの日	6月11日	行事食として天ぷら等の食事を提供
焼肉昼食会	7月9日、12日、13日 8月12日、13日、18日	グループごとに焼き肉等の食事を提供 (各グループ年2回実施)
敬老の集い	9月29日	65歳以上の方々を対象にお祝い ご利用者全員にお祝いの食事を提供
蕎麦の日	10月20日	グループごとにそば等の食事を提供
寿司の日	11月12日	エムズフード主催 寿司の提供
クリスマス忘年会	12月24日	会食と演芸やゲーム(オンライン)を楽しむ
餅つき	12月26日	餅つきで季節感や年中行事を体感する
新春ゲーム大会	1月1日	グループごと新春祝いの催し
節分	2月3日	年男・年女による豆まき
鍋の日	2月4日、3月4日	寄せ鍋、すき焼き等の食事を提供

# 特別養護老人ホーム和幸園 ～ since 1975 ～

## 1. 事業報告総括

ご利用者自身が、その人らしい生活を主体的に過ごせるように、ご利用者お一人おひとりを専門的に介護するための視点として、「水分・常食・運動・座位排便」の4つの基本ケアを中心とする自立支援介護に取り組みました。入居後に、おむつを使用しない生活を実践していただくとともに、基本ケアの実践によって顕著にお元気になれる方もみられています。当施設をご利用いただく付加価値として、この基本ケアの実践をより深めていきたいと考えています。

一方で、2021年度も新型コロナウイルス感染症の収束の兆しは見られず、札幌市内においても「まん延防止等重点措置」が発令されました。2022年2月末には、当施設職員1名の感染を発端に、翌日には同ユニットで3名のご利用者が感染し、保健所の指示により施設内での療養となりました。これまで、新型コロナウイルス対策会議や感染症対策委員会、研修等で学んできた感染対策を徹底し、感染者へのケアと治療に取り組みましたが、結果として94名のご利用者・職員が感染する大規模なクラスターへと拡大してしまいました。その結果、ご逝去されるご利用者やADLの低下に繋がってしまうケースもあり、施設内での感染防止とともに感染者の施設内療養時のケア方法に大きな課題を残すこととなりました。

## 2. 法人の5つの視点に対する取り組み

### (1) 利用者視点

#### ① 自立支援介護

自立支援介護 web 研修に継続して参加し、web 研修前には資料をもとに内部での勉強会を行い、より研修の効果向上に努めました。また、施設内の自立支援会議にて、理事を講師に招き、定期的な講義を受けるとともに、各参加職員が支援対象利用者についての実践報告を行い、助言を受けました。

#### ② ターミナルケア

ターミナルケアの実施に際し、新型コロナウイルス感染対策での面会自粛期間についても、PPEでの面会の継続、LINEによるリモート面会や定期的に日々の様子(写真送付等)や病状の報告を実施しました。本人やご家族の意向に沿った最期の時をお過ごしいただけるよう多職種連携による支援を実施し、年間を通じて8名のご利用者を施設内でお見送りすることとなりました。

#### ③ 褥瘡の予防

褥瘡予防委員会を2ヵ月に1度開催し、褥瘡発生状況やリスク確認の情報共有と褥瘡予防の勉強会を実施しました。各ユニットにおいて、褥瘡予防委員のリーダーシップにより、皮膚観察、予防の為の日々の除圧・体位交換・擦れの予防、皮膚の清潔保持・失禁を減らすための対策等が効果的に実施できました。また、理学療法士によるご利用者個々の介助方法の指導により、シートや移乗グローブを使った除圧方法等のポジショニング研修を行い、各ユニットで実践することができました。さらに、皮膚トラブル発生時には、早期に褥瘡介護計画書を作成し、多職種のチームによる迅速で適切な対応により、悪化予防に取り組むことができました。新型コロナウイルス感染者の発生によるゾーニング時に褥瘡が発生するケースがありましたが、上記に基づく早期対応により、悪化を防止することができました。

#### ④ 介護事故の減少

介護事故の総件数は、約253件(半数は転倒・転落事故)と過去5年間で最も少ない件数となりました。しかし、服薬事故が、39件と昨年度よりも10件程度増加しました。服薬事故は、ヒューマンエラ

一による事故であり、重大事故となり得るため、服薬事故ゼロを目指した再発防止に取り組みます。

#### ⑤ 感染症予防

新型コロナウイルスを除くとその他の感染症の発生はありませんでした。2021年度も、新型コロナウイルスの感染対策を中心として、法人が定める感染対策を基本に職員の日常業務における感染予防意識の向上と感染予防の手技、ガウンテクニック等、いざという時の対応方法を繰り返して学ぶことができるように取り組みました。また、感染者発生（疑い）時には、職員の家族も含めた健康観察と職場への連絡の徹底、感染者の接触状況の確認により、早期に保健所との情報共有及びユニット閉鎖、ゾーニングを実施できる体制を構築しました。2022年1月まで、職員8名、ショートステイ利用者1名が感染しましたが、都度速やかなユニット閉鎖、ゾーニング等で対応し、施設内感染の拡大防止することができました。しかし、2022年2月末、当施設ご利用者63名、職員31名が感染する大規模クラスターが発生し、感染者の施設内療養でのケア方法について課題を残すこととなりました。

#### ⑥ 身体拘束廃止及び虐待防止

身体拘束廃止及び虐待防止委員会を定期的に開催し、職員への勉強会を実施しました。その結果、不適切な身体拘束案件や虐待案件は確認されておりません。しかし、ご利用者による職員への暴力行為等（介護拒否）があり、身体拘束廃止委員会において、介護拒否により介護を受けることができないことでの生命の危機があるとの判断により、ご家族への説明と同意を得たうえで、ミトン手袋を装着してケアを受けていただくこととしました（非代替性・一時性・話し合いのうえ・期間限定での）。その後、改善が見られないため、主治医へ相談、薬の調整の為、医療機関へ入院することになりました。

#### ⑦ レクリエーション、クラブ活動の充実

新型コロナウイルスの感染対策のため、施設全体でのレクリエーションは休止し、ユニット単位での活動が中心となりました。新たな取り組みとしては、理学療法士・作業療法士のユニットレクリエーションを実施しました。しかし、新型コロナウイルス感染者の発生等により、制限が多く、全体的に活動性の低下がみられている1年となりました。次年度は、ウイズコロナ、アフターコロナを視野に、ご利用者が以前の生活を取り戻せるようなケアの方法を検討し、実践します。

#### ⑧ 和幸園だより（広報誌）の発行、Facebookの更新

和幸園だよりをご家族等へ毎月送付するとともに、Facebookについては、随時更新しました。広報委員を中心に、広報誌は、1年間に2回発行するとともに、ホームページについても随時更新しました。

#### ⑨ ご家族との連携

ケアプラン更新時、本人の様子を報告するとともにご家族の意向の聞き取りを実施しました。体調不良時や事故等が発生した際には、ご利用者の状態と今後の対応について、ご家族に対し迅速且つ丁寧な報告を心掛けました。面会については、ゾーニング時以外リモート面会を実施し、まん延防止重点措置解除時等には1階ホールでの制限付の面会を実施しました。また、ターミナルケアのご利用者に対しては、通年でPPEでの居室での面会を実施しました。

### (2) 財務視点

- ① 年間ベッド稼働率については、目標稼働率（入居97.90%、短期90.00%）に対して、入居は94.64%（113.57名）、短期83.58%（16.71名）となり、目標の達成はできませんでした。入居ユニットでは、2022年2月に発生した新型コロナウイルスのクラスターにより、入院者と退去者の急増により、大きな影響を受けました。また、ショートステイユニットでは、職員、ご利用者の

度重なる新型コロナウイルスへの感染により、事業休止を余儀なくされることとなり、その影響を受けました。また、併設する入居施設において、新型コロナウイルスの感染者が発生する度に、ショートステイの利用を控えるご利用者がいたことも影響しました。

- ② 2021年度の介護報酬改定に対応し、新たな加算の算定に挑戦しました。年度途中より、管理栄養士を2名増員し、栄養マネジメント強化加算の算定、LIFEの入居者状況の入力送信による科学的介護推進体制加算(Ⅱ)、褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)(Ⅱ)の算定、これまで取り組んできたトイレでの排泄評価の排せつ支援加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)や自立支援促進加算、事故対策による安全対策体制加算を算定しました。また、次年度に向けて、ADLの評価が改善することで算定が可能となるADL維持等加算の算定を目指し、準備を進めました。

### (3) 人材視点

- ① 職員の定着について、2021年度の介護職員の退職者数は14名となり、昨年度の退職者数24名と比べ定着率が大幅に改善しました。主任やリーダーを中心に、職員個々とコミュニケーションを図ることや新人育成においても細かい気配りに努めたことが功を奏したものと考えます。また、プリセプター制度による新人職員の指導を徹底するとともに育成期間等は一定の基準を設けながらも、職員個々の状況により、柔軟な育成に取り組むことができたことが良い結果に繋がりました。さらに、採用時の採用基準を高めたことや当施設とのマッチングに重点を置いたことも要因となったと考えます。
- ③ 育成担当の役職者に対する新たな支援として、リーダー茶話会、主任茶話会を開催し、ねぎらいの場、同じ立場の役職者間の繋がりを創る場として取り組みました。
- ④ 新型コロナウイルスのクラスター発生時には、職員体制が非常に厳しくなりましたが、感染していない職員や療養を終了した職員が、積極的に勤務を調整し、ご利用者の支援に努めてくれました。感染者となった職員も、感染していない職員も、誰一人背を向けることなく、ご利用者の支援を続けてくれました。
- ⑥ 職員専用保育園「ハピりす保育園」を利用することにより、5名の職員が子育てと仕事の両立を実現することができました。

### (4) 地域貢献

「認知症状改善塾」や「介護なんでも相談」等の地域貢献事業は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、自粛することとなりました。その他、実習生受け入れや地域ボランティア(日赤奉仕団石山分団)、ギター演奏ボランティア等の受け入れも休止としました。2021年度は、新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、ショートステイサービス等の事業を継続し、地域で暮らす方々への支援(緊急ケース含め)を途切れさせないことが大切な役割であり、地域貢献に繋がるものと考えて事業運営に取り組みしました。また、社会福祉法人としての低所得者への利用料減額支援については継続して実施しました。

### (5) ガバナンス体制の強化

2021年度に実施された札幌市指導監査においては、文書・口頭ともに指導事項はなく、良好な事業運営をしていることの評価を得ました。算定している各種加算につきましては、算定要件を定期的に確認し、不正となる請求がないように対応をしています。また、2021年度介護報酬改定に対し、慎重に加算算定要件を確認した上で新規加算の算定を実施しています。さらに、運営基準の変更につきましても、適正な対応を実施しました。

### 3. 事業運営状況

#### (1) 専門職の配置状況 (入所とショートを併せて)

2022年3月31日現在

職名	配置基準数	現員数	備考
施設長	1名	1名	社会福祉士/介護福祉士/介護支援専門員
生活相談員	2名	4名	社会福祉士/介護福祉士3名、介護福祉士1名 介護支援専門員兼務1名
介護支援専門員	2名	2名	生活相談員、機能訓練指導員と兼務
介護職員	46.6名 (常勤換算)	96名	常勤55名、非常勤41名：介護福祉士64名/社会福祉士1名
看護職員	4名 (常勤換算)	12名	常勤2名、非常勤10名(常勤換算5.2名)
医師	必要数	2名	定山溪病院 配置医(週1回往診)
機能訓練指導員	1名	2名	理学療法士、作業療法士 介護支援専門員兼務1名
管理栄養士	1名	3名	常勤1名、非常勤2名

#### (2) 職員配置比率 (定員/入居120名、短期20名)

職種	常勤換算	算出基準	配置比率
介護職員	88.5名	140名/93.7名 (基準140名/3=46.6名)	1.49名
看護職員	5.2名		
計	93.7名		

※ 基準では入居者数を3.0で除した数値以上となっている。

#### (3) 職員研修実施状況

開催日	研修名	講師	参加職種
7月13日	口腔ケアについて(ユーチューブ活用)	施設長	介護職員、看護師、理学療法士、 作業療法士、管理栄養士、生活 相談員
8月18日	健腸長寿(オンライン研修)	札幌ヤクルト販売㈱	
9月29日	AED救命研修	看護師	
10月20日	機能訓練研修(体操レク)	看護師	
10月27日	感染症予防委員会伝達研修	看護師	
11月17日	食事・口腔ケアについて	管理栄養士	
1月12日	ターミナルケア研修	看護師	
2月9日	腰痛予防研修	理学療法士	
年12回	自立支援介護Web研修	外部講師	
随時	介護理念について	施設長	
随時	認知症について	施設長	新人介護職員
随時	基本ケア・食事・排泄・移動・オン コールについて	介護主任・リーダー	新人介護職員
随時	感染症について	看護師	新人介護職員
随時	記録・ターミナルケアについて	生活係長	新人介護職員

#### (4) ご利用者状況

##### ① 入退所状況

	新規入所者数	退所者数
男性	7	12
女性	26	27
計	33	39

##### ② 退所理由

2021年度		うちターミナル	2020年度
死亡	28	8	22
長期入院	7	1	9
家庭引取	4	2	0
他施設へ移動	0	0	0
計	39	11	31

##### ③ 月別平均利用稼働率 (定員/入居120名、短期20名)

	入居		短期	
	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度
4月	99.06%	97.06%	92.67%	103.50%
5月	95.19%	96.08%	73.87%	105.65%
6月	96.14%	97.44%	87.83%	98.50%
7月	99.11%	97.55%	86.61%	96.94%
8月	96.80%	97.63%	77.42%	100.65%
9月	95.94%	97.72%	83.17%	97.00%
10月	95.56%	97.69%	77.10%	94.68%
11月	94.97%	98.75%	84.17%	90.67%
12月	96.13%	96.77%	83.06%	87.90%
1月	90.76%	95.73%	93.96%	87.90%
2月	94.72%	97.23%	93.03%	76.43%
3月	90.51%	97.10%	78.87%	80.97%
年度平均	95.41%	97.23%	84.31%	93.40%

④ 年齢別入居者状況

	65歳未満	65～74	75～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	0	5	8	5	8	1	0	27
女性	0	2	24	25	21	11	5	88
計	0	7	32	30	29	12	5	115

⑤ 新規入居者の入居前状況

	男性	女性	計
自宅	3	18	21
介護老人福祉施設	0	0	0
介護老人保健施設	1	4	5
介護療養施設	0	0	0
医療機関	1	5	6
他の福祉施設	1	0	1
計	6	27	33

⑥ 月別入院状況

入院状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2020年度
入院者数	7	9	7	3	9	9	9	7	11	10	11	21	113	85
入院延日数	103	207	128	10	126	158	166	132	166	238	182	314	1,930	1,587

⑦ 新規入居者の入居時認知症自立度状況

認知症自立度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月	年間
I	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
II	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	0	2	6
III	0	1	2	1	1	1	5	3	3	1	5	1	18	24
IV	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	3	2	3	2	6	3	4	1	6	1	21	33
III以上	0%	100%	66.6%	50.0%	33.3%	100%	83.3%	100%	75.0%	100%	83.3%	100%	85.7%	75.7%

⑧ 新規入居者の入居時要介護状況

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
介護1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護3	1	1	2	2	3	0	3	1	3	1	5	1	23
介護4	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	6
介護5	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
計	1	1	3	2	3	2	6	3	4	1	6	1	33

⑨ 事故報告件数

	事故件数		施設外医療機関対応	
	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度
転倒・転落	139	130	32	24
あざ	24	39	2	4
外傷	24	18	4	1
服薬	39	29	25	16
異食	5	5	3	0
誤嚥	7	6	3	4
皮膚剥離	13	16	1	0
その他（ヒヤリハット含む）	10	13	0	0
計	261	256	70	49

⑩ 苦情受付件数

苦情内容	件数
介護等に関すること	0
設備に関すること	0
職員に関すること	3
その他	0
計	3

#### (4) 年間行事報告

行事名	実施日	内 容
ジンギスカン	6月16日	ユニットにてジンギスカン・ちゃんちゃん焼き
夏祭り (2条)	9月7日	2条フロアでの夏祭り
敬老祭	9月15日、16日	祝寿対象者などへ記念品の贈呈、スライドショー、食事会等
夏祭り (1条)	10月8日	ショートステイユニットでの夏祭り
味覚祭	11月17日	石狩汁や栗ご飯を調理、提供
クリスマス会	12月24日	会食と催し物など披露
餅つき	12月28日	ご利用者と職員による餅つき
のど自慢大会	2022年1月～2月 (全ユニット13回)	各ユニットでのミニのど自慢大会
節分	2月3日	各ユニットにて豆撒き
鍋の日	3月10日	各ユニットにて「すき焼き・寄せ鍋」
寿司の日	3月17日	ユニットにてお寿司を召し上がっていただく行事 (新型コロナ感染者発生のため、海鮮丼の提供)

## 医 務 部 門

### 1. 法人の5つの視点に対する取り組み

#### (1) 利用者視点

- ① 支援会議やケース会議の開催数の増加により、日々の健康状態を把握する機会が増え、問題抽出、提議することで細部にわたる健康管理に繋げることができました。
- ② 協力医療機関、配置医の変更に伴い、利用者情報の提供、往診方法、定期・臨時薬の処方方法の変更等、新たなシステムを構築して運用しました。電話連絡だけでなく、メールでの情報共有、臨時薬の定期化、物品請求の定期化等、業務を一部簡素化、整理することができました。
- ③ 新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、ターミナルケアを実践しました。ターミナル期におけるご利用者個々の状況報告を丁寧に行うとともに PPE での面会を適時実施しました。2021年度は、両施設で9名のご利用者を施設内でお見送りすることとなりました。
- ④ 各施設の事故防止、虐待防止、感染症対策、褥創防止委員会へ参画しました。2022年2月には、両施設でクラスターが発生し、特に和幸園では90名を超える大規模なクラスターへ発展してしまいました。感染したご利用者の多くが施設内療養を余儀なくされ、重症化しないよう療養管理を行うとともに病状の変化時には早期に医療機関への入院に繋がりました。また、ユニット閉鎖やゾーニングの影響により、ご利用者の皮膚状態の悪化等がみられましたが、早期の褥創防止対応により重症化を防ぐことができました。

## (2) 財務視点

施設としての物品管理の見直しを行い、ご利用者の個人購入が適正なものを整理し、施設での物品管理を減らすこととしました。また、医療機器の修繕による再利用や必要備品の整理を行い、経費の抑制に努めました。

## (3) 人材確保と育成

リモート研修の機会が増え、集団研修では当日参加できなかった職員も後日録画で研修内容を確認することができるようになりました。また、各施設委員会における担当委員の変更により、個々の役割の幅を広げるとともに多職種の中で指導的な役割を担うことができました。一方で、出産に伴う休暇や介護休暇、病気休暇等を取得する職員の増加や新型コロナウイルスクラスターの発生により、リフレッシュ休暇の延期や有給休暇の取得ができない時期が発生しました。

## (4) 地域貢献

新型コロナウイルス感染対策により、地域貢献活動は自粛することとなりました。

## (5) ガバナンス体勢の強化

良好な人間関係を構築するため、接遇目標をベースに意見交換がしやすい環境づくりに努めました。個々が自主性をもって業務に取り組んでおり、お互いが依存することなく縦・横の連携が可能となりました。

## 2. 医療業務実績

新型コロナウイルスの影響により、ユニット閉鎖やグループ閉鎖が相次ぎ、看護師が行う処置数は減少しました。胃ろう栄養に関しては、和幸園は1～2名、グリーンハイムは6～7名の受入れを継続しています。定期処置は、女性の尿道カテーテル交換や採血等、これまで全て協力医療機関看護師が訪問により行っていたことを、施設看護師が一部実施することとなりました。

### (1) 和幸園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療処置数	165	136	193	191	228	140	211	174	188	213	187	101	2,127
胃ろう	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	20
ターミナルケア	18	17	20	20	19	20	18	19	18	20	21	20	230
ご逝去	1	2	0	0	2	1	3	1	1	0	1	3	15
救急搬送 日中	0	1	1	1	0	3	0	1	1	1	0	9	18
救急搬送 夜間	0	0	0	1	3	0	0	3	2	2	1	3	15
待機出動	3	5	1	12	5	3	7	5	8	3	6	6	64

### (2) グリーンハイム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療処置数	279	241	243	260	303	261	237	245	257	242	210	262	3,040
胃ろう	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	75
ターミナルケア	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
救急搬送 夜間	0	0	0	2	1	0	1	2	2	0	2	1	11

## 1. 法人の5つの視点に対する取り組み

### (1) 利用者視点

委託業者所属栄養士、調理員との連携を密にして、ご利用者の要望に沿った特色ある食事の提供を実施することができました。新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、可能な限り食事の行事が実施できるように努めるとともに、食事形態の幅を広げることやおいしい食事の追求のため、委託業者と意見交換を実施しました。また、栄養ケアマネジメントを行い、ご利用者個々にあった栄養ケアの提供を遂行しました。特に、和幸園では、管理栄養士を増員したことで、栄養ケアへの実践力の強化が施設の付加価値となるように取り組みます。

### (2) 財務視点

各施設における栄養関係の各種加算について、算定要件を確認し、適切に算定を継続することができました。和幸園では、管理栄養士を増員し、栄養ケアマネジメント強化加算を新たに算定することができました。支出に関しては、物品購入、修理、行事等、予算に合わせて計画的に執行することができました。

### (3) 人材確保と育成

研修、勉強会の開催方法がリモート研修となったことで、各自のスケジュールに合わせた参加が可能となりました。今後、外部研修会等へも積極的に参加し、最新の情報の取得に努めていきます。また、施設管理栄養士と委託業者所属栄養士や厨房職員との定期的な全体ミーティングは、新型コロナウイルス感染対策により開催を休止し、必要に応じたミーティングと日々のコミュニケーションの強化により情報の共有と食事の質の向上に取り組みました。

### (4) 地域貢献の推進

施設利用者、ショートステイ、デイサービスご利用者、ご家族、地域の方々の栄養相談を実施しました。

### (5) ガバナンスの強化

2021年度は、両施設において新型コロナウイルス感染者が発生し、栄養・食事部門が担う施設ケアについて、感染者発生時の特別な対応を法人の方針に沿って実施しました。また、他職種との意見交換をしたうえで、適切な栄養ケアマネジメントを実践することができました。

## 2. 栄養・食事業務実績

### (1) 平均食数(1日あたり/通年)

区 分		食 数
グリーンハイム	入居	94
	短期入居	3
生活介護事業所グリーンハイム		11
和幸園	入居	116
	短期入居	15
和幸園デイサービスセンター		27
計		266

(2) 食事形態

内 容	グリーンハイム	和幸園	計
常食	53	74	127
やわらか食	24	26	50
ゼリー食	14	14	28
胃婁	6	1	7

(3) 特別食

内 容	グリーンハイム	和幸園	計
糖尿病	10	16	26
脂肪制限	3	1	4
心臓病	0	8	8
腎臓病	3	1	4
貧血	0	0	0
低残渣食	0	0	0
計	16	26	42

(4) 年間行事実績及びポイントメニュー

月	行 事	ポイントメニュー
4	和幸園デイサービス誕生会 ご当地メニュー(昼)	赤飯 各地のご当地メニュー
5	子供の日(5日) 和幸園デイサービス誕生会 ご当地メニュー(昼)	赤飯、筑前煮、さくら漬け、水ようかん ちらし寿司 各地のご当地メニュー
6	和幸園デイサービス誕生会 和幸園ジンギスカン・チャンチャン焼き グリーンハイム天ぷらバイキングの日	赤飯 ジンギスカン・チャンチャン焼き 天ぷら(えび・きす・なすび等)、うま煮、フルーツ、サラダ等
7	土用の丑の日 グリーンハイム焼き肉昼食会 和幸園デイサービス誕生会	うなぎちらし、すまし汁、 焼き肉 ちらし寿司
8	和幸園デイサービス誕生会 グリーンハイム焼肉昼食会 生活介護事業所グリーンハイム焼き肉	赤飯 焼き鳥 焼き肉
9	敬老の日 生活介護事業所グリーンハイム焼き肉 和幸園デイサービス誕生会	赤飯、煮しめ、焼き魚、てんぷら、茶碗蒸し、なます、お吸い物 焼き肉 ちらし寿司
10	和幸園デイサービス誕生会 グリーンハイム蕎麦の日	赤飯 手打ち蕎麦を楽しむ
11	グリーンハイム寿司の日 和幸園味覚祭 和幸園デイサービス誕生会	握り寿司(マグロ、サーモン、カレイ、ツナマヨ、いくら、エビ、ホタテ等) 栗ごはん、石狩汁 ちらし寿司
12	グリーンハイム・和幸園クリスマス会 餅つき大会 大晦日(31日) 和幸園デイサービス鍋の日	オードブル・ケーキ等 納豆餅、お汁粉 年越しそば、黒豆等 寄せ鍋
1	元旦(1日)、三が日、七草(7日) 鏡開き 生活介護事業所グリーンハイム鍋の日 和幸園デイサービス誕生会	おせち料理、雑煮、お寿司等、七草(七草粥) お汁粉 寄せ鍋・すき焼き 赤飯
2	節分 生活介護事業所グリーンハイム鍋の日 和幸園デイサービス誕生会	太巻き、いなり 寄せ鍋・すき焼き 赤飯
3	ひなまつり(3日)、お彼岸 生活介護事業所グリーンハイム・和幸園鍋の日 和幸園デイサービス誕生会 和幸園寿司の日	ちらし寿司、すまし汁(アサリ、三つ葉)、炊き合わせ、イチゴ饅頭、手作りおはぎ 寄せ鍋・すき焼き ちらし寿司 海鮮丼

## 訓練部門

### 【グリーンハイム機能訓練】

#### 1. 事業報告総括

- ・個別評価を行い、リハビリテーション実施計画書を作成し、ご本人またはご家族のニーズを汲み取り、個別訓練や機械器具を用いた自主訓練等も盛り込み実施しました。また、日々の業務やご利用者の経過記録の整備を適正に実施しました。
- ・ご利用者の生活状況等を把握したうえで、継続可能な生活リハビリや生活リハビリに繋がる介助方法を介護職員等と検討し、助言・提案を行いました。
- ・車いすや補装具等を使用し、安全・安心な生活を維持し、有意義な時間を過ごせるように支援するため、車いすカンファレンスの定期的開催や義肢装具カンファレンスの随時開催により、個々のニーズに合わせた修理や各種申請を行いました。
- ・理学療法士として、ご利用者個々のニーズに合わせた福祉用具（ポジショニング枕・福祉靴・自助具等）の提案やご利用者・介護者に負担の少ない介護方法や介護用品（スライディングシートやボード・グローブなど）を提案しました。
- ・新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、他ご利用者との関わりを持つ機会や集団の中での役割を持つ機会となる集団訓練を実施し、リハビリテーション効果の他に、社会性を保持することも視野に入れた支援を実践しました。また、ご利用者個々のニーズによっては、和幸園所属の作業療法士に相談し、訓練を実施しました。
- ・ご利用者個々の状況に合わせた創作活動（脳ゲーム・脳トレパズル・折り紙作品・塗り絵・貼り絵など）を提案し、作品の作製を行い、ご本人の希望に合わせて展示等を行いました。
- ・リスクマネジメント委員会や虐待防止委員会、ターミナルケアチームに参画し、理学療法士としての専門的な提案を行うとともに、チームメンバーとして他職種と協働し、各委員会等の目的達成に努めました。
- ・施設内での新型コロナウイルス感染者発生により、各種訓練を休止せざるを得ない期間がありました。その期間は、ゾーニング実施グループにおけるご利用者支援の後方支援を実施しました。

#### 2. 訓練業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別訓練	138	60	129	127	136	139	132	139	144	123	119	69	1,455
集団訓練	34	19	9	10	21	29	34	19	24	18	18	5	240
参加延べ人数	172	79	138	137	157	168	166	158	168	141	137	74	1,695
リハ日数	20	8	18	19	19	20	20	20	19	19	18	10	210
1日平均延べ人数	8.6	9.9	7.7	7.2	8.3	8.4	8.3	7.9	8.8	7.4	7.6	7.4	8.1

※リハ日数は、個別訓練に従事した日数（会議・書類整理・レクは含まず）

## 【和幸園機能訓練】

### 1. 事業報告総括

- ・個別機能訓練加算の適正な算定のため、個別機能訓練計画書及び実施表作成、実施状況確認等の記録整備を継続しました。また、科学的介護推進体制加算算定のため、LIFEの入力に取り組みました。
- ・通常の個別機能訓練の他、必要に応じて、身体機能や残存機能の向上に繋がる個別訓練を実施しました。また、新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、ユニット単位の集団レクリエーションの実施や新春のど自慢大会の開催、歩行運動のモチベーション向上のためのご利用者参加型の壁面飾りの継続等、楽しみのある生活と活動性を高めるための工夫を凝らしたレクリエーション、リハビリテーションに取り組みました。
- ・自立支援介護の推進を図るための離床時間拡大に伴い、車いすや椅子座位での安全・安楽なシーティングの検討を行い、座や背クッションの調整と必要に応じて姿勢改善のためのクッション選定、シーティング調整を実施しました。
- ・ご利用者、介護職員の双方にとって安全な介護の実践のために、移乗介助方法の助言・指導や必要に応じてスライディングシートやポジショニンググローブ、シート等の福祉用具の選定、使用方法の助言・指導を行いました。また、介護負担軽減のための介護ロボット（移乗介助機器等）の導入に取り組みました。
- ・褥瘡予防、褥瘡の悪化防止として、臥床時のマットレスや座クッション、ポジショニングピローの選択と検討を実施するとともに介護職員へポジショニングや体位交換、動作の助言・指導を行いました。
- ・摂食、嚥下困難者に対し、嚥下状態を確認したうえで、食形態や座位姿勢、食器や自具、食具の選定を実施するとともに口腔マッサージや嚥下体操、口腔体操を介護職員へ提案し、実践に繋げました。
- ・施設内研修では、「職員の腰痛予防」と「レクリエーション」、介護職員の新人研修では、「移乗」を担当し、専門職として施設の職員育成に参画しました。
- ・各委員会（褥瘡・身体拘束廃止・事故対策・感染予防・行事・ターミナルケア等）や各種会議、web研修へ参加し、専門職としての意見、助言を行いました。
- ・短期入所部門では、専従の作業療法士を配置し、個別機能訓練加算を算定しました。個別ケアの一環としてご利用者やご家族、ケアマネジャーとの連携を図るとともに定期的な自宅訪問やご家族への介護指導、福祉用具選定の助言を行いました。
- ・施設内での新型コロナウイルス感染者発生により、各種訓練を休止せざるを得ない期間がありました。その期間は、ゾーニング実施ユニットにおけるご利用者支援の後方支援を実施しました。

### 2. 訓練業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別訓練	入居	69	56	50	61	30	39	47	43	41	41	50	23	550
	ショートステイ加算有	157	10	140	183	126	229	249	225	268	284	326	163	2,360
	ショートステイ加算無	22	13	19	33	14	9	9	25	16	4	13	10	187
	1日平均人数	11.8	4.4	9.1	13.2	8.5	12.0	13.9	14.0	14.1	15.0	17.7	11.5	12.2
集団訓練	入居	152	0	199	178	148	107	148	161	87	101	63	0	1,344
	ショートステイ	33	10	10	23	12	12	26	14	13	13	13	0	179
リハ日数		21	18	23	21	20	23	22	21	23	22	22	17	253
参加延べ人数		433	89	418	478	330	396	479	468	425	443	465	196	4,620

※リハ日数は、理学療法士・作業療法士が個別訓練に従事した日数（会議・書類整理・レクは含まず）

# 通所事業部各事業所の事業報告

## 1. 事業報告総括

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ご利用者の動向が大きく変化した1年となりました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置によるご利用者の自主的な利用控えや高齢者住宅等のサービスを利用しているご利用者の住宅運営法人からの外出自粛要請による利用休止、法人内施設での新型コロナウイルス感染者発生による利用控えが発生した結果、通所事業部の3事業所は利用実績が低下し、予算実績を達成することができませんでした。一方で、和幸園自立訓練型デイサービスセンターあうるの森は、事業所の特色である屋外の歩行訓練やマシントレーニングによるパワーリハビリを継続し、新型コロナウイルス感染症の拡大による活動の低下を補い、体力の維持・向上と健康増進を目的とすご利用者のニーズにマッチしたことも功を奏し、予算実績及び前年度実績を上回る結果となりました。

1年を通じて、各事業所では、ご利用者に日々の検温や手指消毒・マスクの着用等の協力を得るとともに定期的な換気やパーティションの設置等による環境の整備にも取り組み、ご利用者と職員が丸となって感染対策に取り組みました。その結果、職員やご利用者が感染者となるケースは発生しましたが、日々の感染対策と発生時（疑い）の迅速な対応により、クラスターを発生させることなく、運営を継続することができました。地域で生活をする高齢者、障がいをお持ちの方々にとって欠かすことができない事業として、サービスの提供を継続することが地域への貢献に繋がるものと考え、今後も責任を持って運営を継続していきます。

経営面においては、各事業所の主任と通所事業部課長・係長で構成する通所事業部会において、各事業所の利用実績を含めた経営報告や運営管理・書類管理・サービス状況等における課題の整理を行い、各事業所のサービスの質の向上、感染対策、業務の効率化・適正化、利用実績の向上に取り組むとともに事業所間の連携力の強化に努めました。

次年度に向けて、新型コロナウイルス感染対策からウイズコロナへ考え方を移行し、活動性の高いサービスの提供と事業所の特色、強みを活かし、地域の方々を元気にするデイサービスとしての運営に努めます。

## 和幸園デイサービスセンター ～ since 1993 ～

### 1. 事業報告総括

2021年度は、昨年度から継続する新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、自主的に利用を自粛するご利用者や高齢者住宅等の運営法人の自粛要請に基づくご利用者の利用休止、加えて、併設の短期入所生活介護事業所や入居施設での感染者の発生等により、年間平均利用実績は30.5名と予算実績を大きく下回る結果となりました。例年と比較し廃止者数が多くなり、結果として登録者数が昨年度比で12名減少したことも要因となりました。居宅介護支援事業所等に対する情報発信や新型コロナウイルス感染対策をしたうえでの経営戦略等に課題が残る1年となりました。

事業所運営については、ご利用者に対する統一したケアと情報共有の強化を図ることを目的として、介護ICTソフト「ほのぼのNEXT」を職員に浸透させ、ご利用者の基本情報や介護請求の使用に留まらず、個別のサービ

ス状況における記録の整理と情報共有の効率化に取り組みました。また、介護 ICT ソフト「ほのぼのNEXT」の活用により、2021年度介護報酬改定におけるLIFEとの連携に取り組むことができました。さらに、記録の電磁保存に伴い、書類管理等の事務負担軽減やICTによる業務の効率化、備品のコスト削減を達成することができ、直接ご利用者と関わる時間を創出することができました。

サービス内容については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、昨年度に続いて外出レクは休止となりましたが、新しい取り組みとして、一人カラオケルームの設置や卓球、感染対策に配慮したゲーム活動等を実施しました。また、自立支援介護を実践する事業所として、基本ケア「水分・食事・排便・運動」の重要性を職員の共通認識として、さらにその知識と技術を深め、専門性の高いサービス提供を実践する準備に取り組みました。

最後に、新型コロナウイルス感染症収束の兆しは未だ見えない状況ではありますが、ご利用者が安心して笑顔で過ごしていただけるように、社会情勢に柔軟に対応した新しい発想での事業所運営を実践するとともにプログラムの内容や時間を見直し、事業所の強みや付加価値を明確にして情報発信をしていきます。

## 2. 事業運営状況

### (1) 専門職の配置状況

2022年3月31日現在

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士 併設事業所管理者兼務
生活相談員	3	1	2	0	0	社会福祉士1名、介護福祉士2名 介護職員兼務2名
介護職員	16	7	2	7	0	常勤9名 非常勤7名：介護福祉士13名
看護職員	3	0	0	0	3	機能訓練指導員兼務3名
機能訓練指導員	4	1	0	0	3	柔道整復師、看護職員 看護職員兼務3名

### (2) 職員研修実施状況

法人研修参加及び実務者研修受講のみ

### (3) ご利用者状況（基準：2022年3月実利用者数）

#### ① 利用登録者状況

2021. 3. 31	2021. 4. 1～2022. 3. 31		2022. 3. 31
登録者	新規登録者	廃止者	登録者
123	32	44	111

#### ② 年齢別状況

～59	60～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計	
								2021年度	2020年度
0	3	10	9	15	30	14	5	86	110

③ 要介護状態区分状況

		要支援1	要支援2	要介護					計
				1	2	3	4	5	
計	2021	6	9	41	16	5	4	5	86
	2020	10	16	47	23	6	4	4	110

④ ADL区分

	自立	一部介助	全介助
歩行	58 (車椅子自走含む)	22	6
排泄	66	17	3
食事	80	4	2
入浴	55	21	10
更衣	68	13	5

⑤ 廃止理由状況

	2021年度	2020年度
死亡	4	2
入所・入居	12	8
入院	14	11
引越し	0	0
その他	14	16
計	44	37

⑥ 月別利用者状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2020年
実利用者数	113	96	97	107	103	99	105	104	100	97	92	86	1,199	1,238
延利用者数	875	719	836	902	837	834	844	834	783	665	632	679	9,440	9,856
要支援1	39	21	24	25	29	29	35	40	31	34	22	28	357	370
要支援2	109	99	100	105	95	95	98	105	83	63	67	70	1,089	1,197
要介護1	385	301	366	418	382	381	384	397	392	337	305	325	4,373	3,878
要介護2	227	181	227	244	228	222	216	188	170	132	141	142	2,318	2,872
要介護3	46	56	56	53	43	47	44	45	48	43	42	56	579	801
要介護4	28	24	20	20	18	19	22	21	19	16	19	23	249	217
要介護5	41	37	43	37	42	41	45	38	40	40	36	35	475	521
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310	306
平均利用者数	33.7	27.7	32.2	33.4	32.2	32.1	32.5	32.1	30.1	27.7	26.3	25.1	30.5	32.2

#### (4) 苦情受付件数

	件数
介護に関すること	0
職員に関すること	1
その他	0
計	1

#### (5) 事故報告件数

	件数	うち医療機関受診	2020年度
転倒	14	2	8
介護上の事故	1	0	2
異食	0	0	0
誤薬	1	0	0
その他	5	1	6
ヒヤリハット	1	0	3
計	22	3	19

#### (6) 行事及び活動実施状況

月	日程	行事及び活動内容	延べ参加人数
4月	4月12日～4月17日(6日間)	カラオケ大会	207名
5月	5月3日～5月8日(6日間)	菖蒲湯	160名
6月	6月8日～6月13日(6日間)	青空喫茶	199名
7月	7月12日～7月17日(6日間)	スポーツ大会	214名
8月	8月2日～8月7日(6日間)	夏祭り	183名
9月	9月14、16、20日(3日間)	敬老会	99名
10月	10月11日～10月16日(6日間)	喫茶レク	195名
11月	11月2日～11月7日(6日間)	秋の収穫祭	196名
12月	12月20日～12月25日(6日間)	クリスマス会・ゆず湯	175名
1月	1月4日～1月10日(6日間)	くじ引き	173名
2月	1月28日～2月3日(6日間)	節分(年男、年女記念撮影含む)	155名
3月	3月14日～3月19日(6日間)	年度末ゲーム大会	143名

#### (7) 実習生受入れ状況

新型コロナウイルス感染対策により休止

#### (8) 地域貢献事業

新型コロナウイルス感染対策により休止

# 和幸園芸術の森デイサービスセンター のえるの森 ～ since 2007 ～

## 1. 事業報告総括

2021年度の実績目標は、登録者35名、1日平均利用者数10.2名を目指し取り組みました。新規利用者については、法人内居宅介護支援事業所からの紹介が8名（前年度4名）、法人外居宅介護支援事業所からの紹介が10名（前年度13名）となりましたが、施設入所等による廃止者数は17名となり、2022年3月31日時点での登録者数は29名、年間平均利用者数は8.61名（前年度9.47名）となりました。新型コロナウイルスの感染拡大や当事業所での感染者（疑い）発生に伴い、自主的に利用を自粛するご利用者や高齢者住宅等の運営法人の自粛要請に基づくご利用者の利用休止、入院での長期休止、施設入居等での利用廃止者が続いたことにより、年間目標実績を下回る結果となりました。しかし、年間の相談件数は33件、新規利用者数も18件と順調に利用者紹介を得ることができており、法人内外の居宅介護支援事業所からの当事業所の認知症ケアに対する理解は高まっています。今後、当事業所の強み、特色等を明確にしたうえで、情報発信力の強化に取り組みます。

事業所運営については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、行事等において規模の縮小や予定の変更を余儀なくされました。例年であれば、ご家族をご招待しての夏祭りやクリスマス会もご利用者のみでの開催とし、外出行事やドライブについては全て中止としました。しかし、少しでも楽しみのある活動性の高い時間を過ごしていただくことを目指し、ご利用者と一緒に畑で野菜の苗を植えや収穫をする等、外気に触れて季節を感じていただくことや行事では職員個々の特技を生かした余興を披露する等して楽しく過ごしていただくことに努めました。また、毎日提供するお食事は栄養バランスに配慮しながらも家庭の味を楽しんでいただき、季節行事に合わせてのメニューも盛り込みながら、心のこもった温かいお食事を楽しんでいただくことに努めました。

2021年度も、法人全体で新型コロナウイルス感染対策に取り組み続けた1年ではありましたが、このような困難な時期にこそ、ご利用者やご家族の気持ちに寄り添いながら専門性の高いケアを提供し、地域に暮らす認知症の方々が幸せに暮らしていけるよう、心をこめた支援を実践していきます。

## 2. 事業運営状況

### (1) 専門職の配置状況

2022年3月31日現在

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	介護福祉士 生活相談員兼務
生活相談員	3	0	3	0	0	介護福祉士3名 介護職員兼務2名
介護職員	14	0	2	12	0	常勤2名、非常勤12名：介護福祉士12名
看護職員	3	0	0	0	3	機能訓練指導員兼務3名
機能訓練指導員	3	0	0	0	3	看護職員兼務3名

(2) 職員研修実施状況

開催日	研修名	主催
2021. 8. 10	カリウムコントロールについて	事業所
2021. 11. 9	感染症・おう吐物処理について	事業所

(3) ご利用者状況（基準：2022年3月実利用者数）

① 利用登録者状況

	2021. 3. 31	2021. 4. 1～2022. 3. 31		2022. 3. 31
	登録者	新規者	廃止者	登録者
男性	6	4	4	6
女性	24	14	13	23
計	30	18	17	29

② 年齢別状況

	55～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計		平均年齢	
									2021	2020	2021	2020
男性	0	0	0	4	1	1	0	0	6	6	80.3	79.8
女性	0	0	1	2	2	10	4	4	23	24	88.2	90.5
計	0	0	1	6	3	11	4	4	29	30	84.3	85.2

③ 要介護状態区分状況

		介護度						計
		支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
男性		0	4	2	0	0	0	6
女性		0	11	2	4	6	0	23
計	2021	0	15	4	4	6	0	29
	2020	0	12	8	5	5	0	30

④ ADL状況

	自力可能			一部介助			全介助		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
歩行	5	15	20	1	6	7	0	2	2
排泄	5	12	17	1	8	9	0	3	3
食事	6	18	24	0	4	4	0	1	1
入浴	1	5	6	5	15	20	0	3	3
着脱衣	1	7	8	5	13	18	0	3	3

⑤ 認知機能状況

	記憶障害				失見当識			
	重度	中度	軽度	計	重度	中度	軽度	計
男性	0	3	3	6	0	2	4	6
女性	6	13	4	23	5	5	13	23
計	6	16	7	29	5	7	17	29

⑥ 認知症状類型

種 類	2021 年	2020 年
アルツハイマー型認知症	16	18
レビー小体型認知症	2	1
脳血管性認知症	1	2
ピック病（前頭側頭型）	0	0
その他（混合型・不明）	10	9

⑦ 廃止理由状況

	男 性	女 性	計	
			2021	2020
死亡	0	1	1	1
長期欠席	0	2	2	0
入院・入居	2	10	12	10
その他	0	2	2	0
計	2	15	17	11

⑧ 利用者世帯状況

		独 居	夫 婦	息子と同居	娘と同居	その他	計
男性		1	3	1	1	0	6
女性		3	3	3	12	2	23
計	2021	4	6	4	13	2	29
	2020	5	6	6	10	3	30

⑨ 月別利用者状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2020年
実利用者数	26	22	23	24	22	21	24	24	25	23	24	27	285	292
延利用者数	285	265	251	261	230	206	216	195	203	182	167	218	2,679	2,936
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	100	94	93	94	61	65	75	78	95	90	78	103	1,026	780
要介護2	70	50	45	55	53	46	55	31	22	23	25	30	505	756
要介護3	58	65	59	56	61	55	51	51	50	35	28	43	612	684
要介護4	57	56	54	56	55	40	35	35	36	34	36	42	536	609
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310	310
平均利用者数	11.0	10.2	9.7	9.7	8.8	7.9	8.3	7.5	7.8	7.6	7.0	8.1	8.6	9.5

(4) 苦情受付件数

	件 数	
	2021 年度	2020 年度
介護等に関すること	0	0
職員に関すること	0	0
その他	0	0
計	0	0

(5) 事故報告件数

	件 数	
	2021 年度	2020 年度
転倒	3	2
介護上の事故	1	2
異食	0	0
その他	1	5
ヒヤリハット	4	8
計	9	17

(6) 行事及び活動実施状況

月	行 事
4 月	音楽療法・大道芸
5 月	端午の節句・のえるの森誕生会～祝 14 歳～・苗植え・音楽療法
6 月	音楽療法
7 月	音楽療法・映像ドライブ
8 月	夏祭り・音楽療法
9 月	敬老会・大道芸・音楽療法
10 月	避難訓練・秋のお茶会・音楽療法
11 月	音楽療法
12 月	クリスマス会・大道芸・音楽療法
1 月	初笑い・映像ドライブ
2 月	節分
3 月	ひな祭り・音楽療法・手作りおやつ

(7) 実習生受入れ状況

新型コロナウイルス感染対策により休止

(8) 地域貢献事業

新型コロナウイルス感染対策により休止

# 和幸園自立訓練型デイサービスセンター あうるの森 ～ since 2018 ～

## 1. 事業報告総括

2021年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく感じる1年となりました。次々と変異株が流行し、市内の感染者急増による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令される中、残念ながら感染を避けることができなかつたご利用者・職員もいましたが、各々が感染症対策にしっかりと取り組んでいたおかげで、感染が拡大することなく事業所運営を継続することができました。

経営面においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、自主的に利用を自粛するご利用者や高齢者住宅等の運営法人の自粛要請に基づくご利用者の利用休止、冬季間は入院者の増加により一時的に実績が低迷したものの年間平均利用者数は15.2名と目標実績を大きく上回ることができました。年間の廃止者が12名いる一方で、新規利用者は17名となり登録者が72名となりました。登録者の傾向は、要支援のご利用者が半数以上で、利用回数も週に1回のご利用者が半数を占めていますが、各単位での登録人数は97%程度で推移しました。新規登録者は、新型コロナウイルス感染症拡大により、自宅で過ごすことが多くなり、体力・筋力が低下してしまうことへの懸念から、当事業所の利用を希望される方が多い傾向となっています。年度末登録者は72名と昨年度末から5名の増加となっていますが、介護度の変更や運動機会を増やしたいとの要望から利用回数の増加希望もあり、延べ利用者数は大きく増えている傾向にあります。ケアマネジャーや関係機関とこまめに情報共有を図ることにより、ご利用者のニーズや課題に事業所として向き合うことができ、効果的なサービス提供に繋げることができました。

新型コロナウイルス感染症の不安から交流機会も減少する中、在宅生活を継続するための運動機会を得るためだけでなく、人との関わりの重要性を感じているご利用者が多いことを改めて感じ、今後ご利用者の気持ちに沿ったサービスの提供ができる事業所を目指し、運営していきます。

## 2. 事業運営状況

### (1) 専門職の配置状況

2022年3月31日現在

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非 常 勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士／介護支援専門員 併設事業所管理者兼務
生活相談員	1	1	1	0	0	介護福祉士2名 介護職員兼務1名
介護職員	6	0	1	5	0	常勤1名、非常勤5名：介護福祉士4名
機能訓練指導員	1	1	0	0	0	理学療法士

(2) 職員研修実施状況

開催日	研修名	主催
2021. 4. 19	緊急時・事故発生時の対応について	事業所
2021. 5. 17	自立神経について	事業所
2021. 6. 21	みんなで考える認知症ケア	事業所
2021. 7. 19	通所サービスでの家族支援	事業所
2021. 8. 17	プライバシー保護について	事業所
2021. 9. 21	介護現場で使えるアロマ	事業所
2021. 10. 18	感染症対策について・自立支援介護について	事業所
2021. 11. 15	介護予防・フレイルについて	事業所
2021. 12. 20	社会福祉法人で働く職員の倫理及び法令遵守	事業所
2022. 1. 17	人体学に基づいた身体の使い方	事業所
2022. 2. 21～	身体拘束について (感染症対策により個別研修)	事業所

(3) ご利用者状況 (基準：2022年3月実利用者数)

① 利用登録者状況

	2021. 3. 31	2021. 4. 1～2022. 3. 31		2022. 3. 31
	登録者	新規者	廃止者	登録者
男性	25	8	3	30
女性	42	9	9	42
計	67	17	12	72

② 年齢別状況

	55～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計	平均年齢
男性	0	1	7	4	4	8	4	2	30	79.9
女性	1	3	1	6	13	10	5	3	42	80.7
計	1	4	8	10	17	18	9	5	72	80.3

③ 要介護状態区分状況

(2022年3月末現在)

	事業対象者 要支援1	要支援2	要介護					計
			1	2	3	4	5	
男性	11	5	6	5	3	0	0	30
女性	11	13	12	5	1	0	0	42
計	22	18	18	10	4	0	0	72

④ ADL状況

	自力可能			一部介助			全介助		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
歩行	26	36	62	4	6	10	0	0	0
排泄	28	40	68	2	2	4	0	0	0
食事	30	42	72	0	0	0	0	0	0
入浴	20	33	53	10	9	19	0	0	0
着脱衣	26	39	65	4	3	7	0	0	0

⑤ 疾病別利用状況

疾病種別	2021年度	2020年度	疾病種別	2021年度	2020年度
関節疾患（膝・腰・股・肩）	29	37	呼吸器疾患	3	4
糖尿病	11	11	統合失調症	1	1
認知症	21	16	脳梗塞等後遺症	14	10
鬱病	3	2	心疾患	7	0
パーキンソン病関連疾患	4	5	その他	34	22

⑥ 廃止理由状況

	男 性	女 性	計	
			2021年度	2020年度
死亡	1	0	1	0
長期欠席	0	1	1	1
入院・入居	1	3	4	5
その他	1	5	6	8
計	3	9	12	14

⑦ ご利用者世帯状況

	独 居	夫 婦	息子と同居	娘と同居	その他	計
男 性	1	18	3	3	5	30
女 性	12	7	6	7	10	42
計	13	25	9	10	15	72

⑧ 月別利用状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2020年
実利用者数	58	58	63	63	65	67	68	69	69	65	63	67	775	669
延利用者数	321	254	323	305	320	356	340	357	328	303	274	351	3,832	3,368
要支援1	96	66	98	89	91	98	89	98	88	91	82	95	1,081	961
要支援2	88	64	67	71	71	88	90	98	87	74	65	99	962	839
要介護1	80	76	101	92	100	96	93	90	75	59	59	69	990	925
要介護2	52	44	44	42	44	56	55	60	56	53	49	66	621	506
要介護3	5	4	13	11	14	18	13	11	22	26	19	22	178	126
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
開所日数	22	17	22	22	21	22	21	22	20	20	20	23	252	253
平均利用者数	14.6	14.9	14.7	13.9	15.2	16.2	16.2	16.2	16.4	15.2	13.7	15.3	15.2	13.3

#### (4) 苦情受付件数

	件 数	
	2021 年度	2020 年度
介護等に関すること	0	0
職員に関すること	0	0
その他	0	0
計	0	0

#### (5) 事故報告件数

	件 数	
	2021 年度	2020 年度
転倒	6	4
介護上の事故	0	0
異食	0	0
その他	4	1
ヒヤリハット	20	6
計	30	11

#### (6) 実習生受入れ状況

新型コロナウイルス感染対策により休止

#### (7) 地域貢献事業

新型コロナウイルス感染対策により休止

## 生活介護支援事業所グリーンハイム ～ since 1996 ～

### 1. 事業報告総括

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令、札幌市内の感染状況が目まぐるしく変化する1年となりました。幸いにも当事業所のご利用者、職員の感染による事業休止はありませんでしたが、2021年5月には併設の障がい者支援施設で新型コロナウイルス感染者が発生したことにより、13日間の事業休止を余儀なくされました。事業再開後、ご利用者、ご家族からは「再開を待っていた」、「事業休止中は大変だった」という声を聞き、事業所の存在意義を実感するとともに、これからも地域社会を支える事業所として運営を継続していくことの必要性を改めて感じることとなりました。

経営状況としては、新型コロナウイルス感染症拡大により、自主的に利用を自粛するご利用者や高齢者住宅等の運営法人の自粛要請に基づくご利用者の利用休止等が大きく影響し、平均利用者数12.66名と前年度比で0.7名(延べ364名)の利用実績減となりました。障がい支援区分5・6割合は63%を超え「人員配置体制加算Ⅰ」の取得を継続することができました。次年度においても、重度ご利用者の受け入れを継続し、障がい支援区分5・6割合60%以上を確実に維持するために、日々の実績管理に努めていきます。

職員体制としては、新型コロナウイルス感染症拡大により、いつ自分が感染者となるかわからない恐怖と戦いながらも、専門職としてご利用者の支援を行い、1年間欠員なく運営することができたことを誇りに思います。今後もこの人財を大切にしていくとともに、職員育成を継続し、事業所の安定運営に取り組んでいきます。

今後、ご利用者の高齢化がさらに進み、利用廃止者の増加が予想されるため、実績を維持、向上させていく

ため、相談支援事業所、養護学校、知的障がい者施設等へのアプローチを丁寧に行っていきたいと考えています。特に、次年度から札幌市委託の障がい者相談支援事業所となる相談支援事業所グリーンハイムとの連携強化を図り、新規利用者確保に努めていきます。また、ショートステイ利用ができる施設と併設している強みを活かし、ショートステイと絡めたご利用者の確保にも継続して取り組んでいきます。

## 2. 事業運営状況

### (1) 専門職の配置状況

2022年3月31日現在

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士 併設事業所管理者兼務
サービス管理責任者	1	1	0	0	0	介護福祉士
介護職員（生活支援員）	15	3	0	12	0	常勤3名、非常勤12名（常勤換算9.0名） ：介護福祉士10名
看護職員	2	0	0	0	2	機能訓練指導員兼務2名（常勤換算0.7名）
機能訓練指導員	2	0	0	0	2	看護職員兼務2名（常勤換算0.2名）

### (2) 職員研修実施状況

法人研修参加のみ

### (3) ご利用者状況（基準：2022年3月実利用者数）

#### ① 利用登録者状況

区 分	2021年3月31日	2020年4月1日～2021年3月31日		2022年3月31日
	登録者数	新規登録者	廃止者	登録者数
男 性	17	0	1	16
女 性	24	1	1	24
計	41	1	2	40

#### ② 年齢別状況

区 分	～20歳未満	20～30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50～60歳未満	60～70歳未満
男性	0	1	2	2	2	4
女性	0	1	6	7	2	4
計	0	2	8	9	4	8
区 分	70歳～		計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	5		16	21	76	57.06
女性	4		24	26	82	52.83
計	9		40			54.56

③ 疾患別・障害程度区分別状況

	疾患別状況			障がい支援区分別状況									
	男性	女性	計	2		3		4		5		6	
				男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
脳性麻痺	4	7	11	0	0	1	0	0	1	1	1	2	5
脳血管障害	3	3	6	0	0	1	1	2	1	0	0	0	1
心臓病	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
頭部外傷	2	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
視覚障害	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
リウマチ	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
知的障害	3	2	5	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0
その他	3	9	12	0	0	2	4	0	0	0	0	1	5
計	16	24	40	0	0	5	6	5	2	1	3	5	13

④ ADL 状況

	食 事				更 衣			
	全介助	一部介助	自 立	計	全介助	一部介助	自 立	計
脳性麻痺	4	3	4	11	8	1	2	11
脳血管障害	1	0	5	6	1	1	4	6
心臓病	0	1	0	1	0	1	0	1
頭部外傷	0	1	1	2	1	0	1	2
視覚障害	0	1	1	2	0	1	1	2
リウマチ	0	1	0	1	1	0	0	1
知的障害	0	2	3	5	1	3	2	6
その他	4	3	5	12	5	2	4	11
計	9	12	19	40	17	9	14	40
	排 泄				入 浴			
	全介助	一部介助	自 立	計	全介助	一部介助	自 立	計
脳性麻痺	8	0	3	11	8	3	0	11
脳血管障害	1	0	5	6	1	4	1	6
心臓病	0	1	0	1	1	0	0	1
頭部外傷	0	1	1	2	1	0	1	2
視覚障害	0	1	1	2	1	0	1	2
リウマチ	0	1	0	1	1	0	0	1
知的障害	2	3	0	5	3	2	0	5
その他	6	1	5	12	6	3	3	12
計	17	8	15	40	22	12	6	40

⑤ 廃止理由状況

	男 性	女 性	計	2020 年度
死亡	0	0	0	1
長期入院	0	1	1	0
施設入居	0	0	0	0
地域移行	0	0	0	0
その他	1	0	1	2
計	1	1	2	3

⑥ 月別利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2020年
実利用者数	41	37	38	39	38	38	36	38	39	38	34	37	453	449
延利用者数	330	105	302	315	304	310	320	301	302	292	244	280	3,405	3,769
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	70	21	76	68	64	67	62	58	61	50	45	67	709	750
区分4	53	14	39	49	46	46	50	50	52	44	34	41	518	641
区分5	19	8	19	21	23	23	20	18	18	23	16	24	232	176
区分6	188	62	168	177	171	174	188	175	171	175	149	148	1,946	2,202
開所日数	24	9	25	24	24	23	25	23	23	23	21	25	269	282
平均利用者数	13.8	11.7	12.1	13.1	12.7	13.5	12.8	13.1	13.1	12.7	11.6	11.2	12.7	13.37
区分5・6割合	62.73	66.67	61.92	62.86	63.82	63.55	65.00	64.12	62.58	67.81	67.62	61.43	63.96	63.09

(4) 苦情受付件数

	件数	第三者機関依頼
職員との関係	0	0
運営等関係	0	0
計	0	0

(5) 事故発生状況

	件数	施設外受診対応	2020年度
転倒	0	0	2
誤薬	0	0	0
介護事故	0	0	1
その他	3	0	1
計	3	0	4

(6) 行事及び活動実施状況

月	行 事	創作活動
4月	おやつパーティー3回	折り紙製作教室、子どもの日飾り制作
5月	園芸活動～花、野菜などの植物の苗を植えよう	牛乳パックグライダー製作
6月		夏の飾り作り、調理教室
7月	バーベキュー（中庭にて）1回	和紙工作・トレー製作
8月	バーベキュー（中庭にて）4回、園芸活動～野菜を収穫しよう	折り紙製作教室、秋の飾り作り
9月	縁日レク 4回	ハロウィン飾り製作
10月	焼き芋パーティー 3回	ハロウィン飾り製作、凧作り
11月		クリスマス飾り製作
12月	クリスマス会 2回	正月飾り製作
1月	新春ビンゴゲーム大会 6回、鍋料理の日（寄せ鍋）2回	春の飾り作り、節分お面作り
2月	節分の豆まき、鍋料理の日（寄せ鍋）3回	ひな祭り飾り製作
3月		桜の木・花制作

【スポーツレク活動】（2021.4～2022.3まで毎日午後に行っていた活動）

スカットボール、ボウリング、ホームランゲーム、ペットボトルボウリング、缶コロリングゲーム、射的、ゲーゴルゴルフ、ゲーゴルゲーム、めくってポンゲーム、ペタンク、ペットボトルサッカー、トントン相撲、豆まめリレー、アニマルゲーム、輪投げ、的あてゲーム、トランプ、外気浴、館内散歩

【個別活動】（2021.4～2022.3まで行っていた活動）

ストレッチ、将棋、オセロ、麻雀、カラオケ、塗り絵、和紙工作、数学勉学、DVD 試聴、編み物、歩行訓練（廊下内）、日光浴、館内散歩

(7) 実習生受入れ状況

新型コロナウイルス感染対策により休止

(8) 地域貢献事業

新型コロナウイルス感染対策により休止

## 日中一時支援事業グリーンハイム

(1) 登録者（定員3名）

男性 0名、女性 0名

(2) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4時間以上～8時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

---

## 地域事業部各事業所の事業報告

---

### 1. 事業報告総括

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、地域福祉活動は大きく制限され、地域貢献活動の一環として行ってきた「いしやま朝市送迎バス」の運行や石山地区福祉のまち推進センターと共催で実施している「お茶の間懇談会」は2年連続で中止することとなりました。また、法人として実施してきた「介護なんでも相談」や「認知症状改善塾」についても、休止せざるを得ない状況となりました。次年度においては、ウィズコロナを見据えて、地域福祉の発展のための地域貢献活動を再開できる方法を地域事業部として検討していきます。

地域事業部各事業所の経営状況については、和幸園指定居宅介護支援事業所及び相談支援事業所グリーンハイムが予算実績目標を達成することができました。また、相談支援事業所グリーンハイムは、札幌市障がい者相談支援事業実施業務（南区）委託プロポーザルで選考され、2022年度より札幌市障がい者相談支援事業実施業務（南区）を受託することができ、より安定した経営が可能な状況となります。一方で、グリーンハイム・和幸園ホームヘルプサービス事業所は、職員の退職が相次いだこともあり、稼働実績としては昨年度を下回る結果となりました。訪問介護事業については、介護保険法・障がい者総合支援法の動向からも、益々事業継続が厳しくなることが予想され、事業縮小を視野に新しい経営スタイルを検討していきます。

介護予防センターは、2019年度より専門職が1名増員となり、より地域に根ざした活動を基本として法人内外の人脈を活かし、地域との連携を強化した運営を実践しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、地域での活動は制限され、思う通りに活動ができない1年となりました。その中でも、職員の創意工夫により地域との関わりをより円滑に行うとともに転倒予防教室等の活動も実施することができました。

最後に、地域事業部事務局が芸術の森地区への移転から4年が経過し、芸術の森地区における当法人や各施設・事業所の認知度が向上していることで、地域住民や地域の各種団体からの相談件数が増加傾向にあります。今後も、地域包括ケアに必要な地域に根ざした事業所づくりを変わずに推し進め、どんな依頼に対しても「断らない」という方針を基本として、より地域に密着した事業展開を実践していきます。

## 和幸園指定居宅介護支援事業所 ～ since 2000 ～

### 1. 事業報告総括

2021年度の目標実績は、給付管理数を要介護者数180件、要支援者数32件の計212件としておりましたが、実績は月平均要介護者数187.2件、要支援者数34.5件の合計221.7件となり、前年度に続き目標実績を大きく上回る結果となりました。基本方針としていた「地域包括支援センターとの緊密な連携」や「地域住民から信頼を得られるような包括的支援の展開」に職員全員で取り組むとともに相談のあったケースに対しては可能な限り対応するという姿勢を常に意識して取り組んだことが結果に結びついたと考えます。また、新型コロナウイルス感染拡大によるサービス利用自粛の影響については、各介護支援専門員のきめ細か

い対応で最小限に留めることができました。さらに、他法人居宅介護支援事業所からの移管や他法人事業所からの紹介ケースが増えたことは、2021年度の大きな特徴であり、社会情勢による居宅介護支援事業所の運営の厳しさが伺える一方で、当事業所がこれまで真摯にご利用者に向き合ってきたことが評価されているのではないかと考えます。

職員状況は安定しており、各介護支援専門員の基礎資格での業務経験、専門性を互いに理解・尊重し、事業所全体として常に質の高い支援が提供できるよう、個々のスキルアップにも継続して取り組んでいきます。

## 2. 法人の5つの視点に対する取り組み

### (1) 利用者視点

#### ① 質の高いケアマネジメントの実践

地域で少しでも長く生活できるようにご家族及び地域の方々、サービス事業所と連携しながら、ご利用者の選択に基づき適切な保健医療サービスが受けられるよう支援を継続しました。また、積極的に医療との連携を図り、疾病と生活障がいとの関連性について精査し、ご利用者の生活課題の解決に努めました。

#### ② 中立性・公平性の確保

ご利用者の利益を最優先に支援を行い、独立且つ幅広い関係機関との連携を保ち、公平・中立なケアマネジメントを実践しました。

#### ③ 説明責任について

制度改正に伴う情報やケアプランの内容をご利用者にとって適切な方法で分かりやすく説明しました。

#### ④ 高齢者の権利擁護のための必要な援助

高齢者虐待防止法の理解を深め、早期発見及び予防に努めるとともに、関係機関から依頼のあった緊急ケースに対し迅速に対応しました。担当ご利用者で虐待の疑いがある場合は、札幌市・地域包括支援センターへの相談を行い、適切に対応を図りました。

#### ⑤ 緊急時における迅速な対応

特定事業所として、緊急時に即対応できるように各ケアマネジャーが連携し対応を行いました。

#### ⑥ 支援困難ケースの積極的受け入れ

認知症等の疾患が原因でサービス利用に対して拒否的な方に対しては、サービス内容の理解が容易に進むよう、ご家族等より詳細に情報を収集し、関係事業所との綿密な打ち合わせのうえで対応することで、スムーズなサービス利用に繋がるよう支援しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による特徴的な事例として、入居施設を退居し在宅でのターミナルケアの希望ケースがあり、施設関係者及び訪問診療やサービス事業所との緊密な連携によって、ご利用者・ご家族への支援を提供することができました。

### (2) 財務の視点

#### ① サービス提供エリアにおける情報収集

常に経営分析を念頭に置きつつ、関係機関との連携の強化を図り、サービス提供エリアにおける新規参入事業所等、福祉サービスの動向を把握し、安定した事業所経営に努めました。

#### ② ケアマネジメント力の向上による在宅生活期間の延長

事業所のケアマネジメント力の向上を図りながら、できるだけ住み慣れた在宅生活を長く継続できるよう、地域の各種サービス事業所との連携強化に努めました。

③ 新規ケースの確保

あらゆる相談に可能な限り即時対応し、特に医療機関や地域包括支援センターからの紹介ケースを積極的に受け入れ、新規利用者の確保に努めました。

④ コスト管理の徹底

職員全員で業務分担を行い、業務の効率化を推進しました。また、効率的な訪問を意識したスケジュールを組み立てることで、時間のコスト管理やガソリン等の経費の節減に努めました。

(3) 人材確保と育成

職員間の円滑なコミュニケーションにより、事業所全体のチーム力が向上し、バーンアウトや離職防止に繋がっています。育成面については、個別面談の実施や主任ケアマネジャーを中心としたスーパーバイズ、伝達会議での個別ケースの検討（事例検討会）や勉強会の開催等により、職員個々のスキルアップと同時に事業所としての質の向上に努めました。

(4) 地域貢献の推進

- ① 地域に密着した相談機関として、担当地域である南区第一地域包括支援センターからの相談件数を引き続き維持することができました。また、介護予防センターや民生委員の方々と連携し、認知症や介護に関する相談の対応を行い、必要に応じて訪問し、各関係機関への引継ぎを行いました。
- ② 例年実施している「お茶の間懇談会」や「いしやま朝市バス」の運行については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2021年度は中止となりました。次年度は、ウイズコロナを見据えて、地域福祉の発展のための地域貢献活動を再開できる方法を検討していきます。

(5) ガバナンス体制の強化

- ① 運営基準の遵守のため、定期的に介護保険制度の勉強会を行うとともに、2021年度は不備のない分かりやすい記録の整備に取り組みました。
- ② 2021年度は、プライバシーの尊重と秘密保持の徹底を目的として、個人情報の安全な取り扱いをマニュアル化し、定期的に見直しを行いました。

3. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2022年3月31日現在

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／介護福祉士 主任介護支援専門員兼務
主任介護支援専門員	2	1	1	0	0	社会福祉士／介護福祉士 管理者兼務1名
介護支援専門員	5	5	0	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士1名、介護福祉士 3名、柔道整復師1名

(2) 職員研修実施状況（外部研修及び合同事例検討会）

日 程	研修名	参加者
2021. 6. 16	第1回 南区3包括合同研修会「家族介護者支援について」	介護支援専門員4名
2021. 7. 9	床ずれ対策 WEB セミナー	介護支援専門員2名
2021. 7. 15	初任ケアマネジャー研修会	介護支援専門員1名
2021. 7. 21	第2回 南区3包括合同研修会「介護報酬改定と介護保険」	介護支援専門員2名
2021. 8. 27	ケアマネジメント実践力向上研修「コロナ禍が引き起こす筋力低下について」	介護支援専門員1名
2021. 9. 13	介護支援専門員 更新研修	介護支援専門員1名
2021. 9. 29	ケア連南区支部定例研修会	介護支援専門員2名
2021. 11. 25	南・豊平区合同権利擁護勉強会「医療と権利擁護」	介護支援専門員5名
2021. 12. 3	介護支援専門員 専門研修II	介護支援専門員1名
2021. 12. 22	主任ケアマネ研修「通達NO.958を読み解く」	介護支援専門員2名
2022. 1. 18	若年性認知症従事者向け研修会	介護支援専門員3名
2022. 2. 6	人生会議（ACP）の基本	介護支援専門員2名
2022. 2. 8	「レビー小体型認知症ケアの実践から」	介護支援専門員4名
2022. 2. 9	難病研修会「医師、リハビリ職に聞くパーキンソン病の最新の治療法と関わり方」	介護支援専門員4名
2022. 2. 17	介護保険住宅改修基礎知識	介護支援専門員1名
2022. 2. 22	第1地域包括支援センター研修会「なるほど！なっとく！身になる成年後見制度」	介護支援専門員2名
2022. 3. 9	「第3回さっぽろ心不全医療ネットワークミーティング」	介護支援専門員2名
2022. 3. 24	合同事例検討会「廃用まっしぐらのHさん」（SOMPO 居宅、居宅もしる）	介護支援専門員6名

(3) 利用者状況

① 居宅介護支援事業所請求実績数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	未確定	計	要支援	合計
4月	94	55	18	12	6	2	187	33	220
5月	92	52	19	11	7	2	183	33	216
6月	92	50	21	11	7	2	183	31	214
7月	96	51	19	12	7	3	188	34	222
8月	94	53	20	15	7	4	193	34	227
9月	91	51	18	13	8	3	184	35	219
10月	85	54	20	16	8	9	192	36	228
11月	87	53	19	16	8	6	189	35	224
12月	89	51	21	18	9	4	192	35	227
1月	88	46	20	17	9	3	183	37	220
2月	88	46	21	16	12	1	184	35	219
3月	90	46	20	16	13	3	188	37	225
合計	1,086	608	236	173	101	42	2,246	415	2,661
2020年度	1,058	634	301	157	92	36	2,278	415	2,693

② 新規利用者紹介経緯（給付管理を行った件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2020年
病院	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	5	3
法人内紹介	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	1	7	10
ご利用者家族	0	1	0	3	1	0	5	1	2	0	1	0	14	13
第一包括	2	2	1	4	1	1	1	0	0	1	0	2	15	20
第二包括	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5
第三包括	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	4
予防センター	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1
南区紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
電話	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	0
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
他事業所紹介	0	0	1	0	0	2	1	1	2	0	2	1	10	1
近隣住民相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	5	4	3	11	3	5	9	3	8	3	5	7	66	73

## 和幸園・グリーンハイムホームヘルプサービス事業所 ～ since 2012 ～

### 1. 事業報告総括

2021年度は、サービス提供責任者や登録ヘルパーの退職が相次ぎ、新たな登録ヘルパーの採用が思うように進まず、サービス提供の継続が厳しい時期もありました。年度途中で、次年度を見据えた事業規模の縮小を決定し、サービス提供責任者等の職員配置の見直しを実施しました。

経営実績としては、年間を通じて厳しい状況となりましたが、2022年2月からの新体制の中で、サービス提供責任者のヘルプ稼働時間の増加や活動交通費等の経費の見直しを実施しました。サービス提供責任者の事業所全体における稼働時間割合は、昨年度が15%、2021年度は16%と年度途中からの取り組みのため微増という結果となりましたが、2022年3月は20%まで増加させることができました。また、新型コロナウイルス感染拡大により、訪問のキャンセル等が発生し、登録ヘルパーが活動できない状況が続き、ヘルパー1人当たりの月の平均稼働時間は、昨年度の39.1時間から2021年度は35.4時間と大幅に減少しました。しかし、2022年2月以降からは新規利用者が増加傾向となり、3月のヘルパー1人当たりの平均稼働時間は40.1時間と回復傾向にあります。この状況が維持できるようにサービス提供責任者の稼働時間の調整や新規利用者の確保を進め、安定経営を目指した事業所運営を推進していきます。

事業所の運営としては、新型コロナウイルス感染拡大に対応したヘルパー会議の開催方法を検討し、Zoomを用いた会議の開催を実現することができました。登録ヘルパーからは、新型コロナウイルスの感染対策になるとともに時間を有効に活用できるとの評価を得たため、今後も継続していきたいと考えています。

## 2. 事業運営状況

### (1) 専門職の配置状況

2022年3月31日現在

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	サービス提供責任者兼務
サービス提供責任者	3	2	1	0	0	介護福祉士3名
ヘルパー	16	0	0	16	0	介護福祉士12名

#### 【職員体制の変遷】

	2021年度	2020年度	2019年度
サービス提供責任者	3	4	4
登録ヘルパー	16	20	25
計	19	24	29

#### 【職員の資格状況】

	2021年度	2020年度	2019年度
介護福祉士	15	19	21
ホームヘルパー 1級	0	0	1
ホームヘルパー 2級	4	5	7

### (2) 職員研修実施状況（外部研修及び合同事例検討会）

開催日	研修名	主 催	参加職種
2021. 4. 24	事例から考えるあいまいゾーン（洗濯支援）	事業所	ヘルパー17名
2021. 5. 22	医療の知識（服薬）	事業所	ヘルパー16名
2021. 6. 26	看取り介護について	事業所	ヘルパー17名
2021. 7. 24	知識と工夫で利用者の健康を守る！食中毒予防	事業所	ヘルパー16名
2021. 8. 22	口腔ケアで利用者の健康をサポート	事業所	ヘルパー15名
2021. 9. 25	介護職員のための感染対策	事業所	ヘルパー15名
2021. 10. 23	認知症ケアで知っておきたいこと	事業所	ヘルパー16名
2021. 11. 20	倫理・法令遵守プライバシー保護	事業所	ヘルパー14名
2021. 12. 18	介護職の心の余裕が虐待を防ぐ	事業所	ヘルパー15名
2022. 1. 22	緊急時に備える	事業所	ヘルパー15名
2022. 2. 19	安心感を持ってもらえる接遇を目指そう	事業所	ヘルパー14名
2022. 3. 26	プライバシー保護はなぜ大切なのか グループワーク「この材料でメニューを考えてください」	事業所	ヘルパー11名

### (3) 利用者状況

#### ① 介護保険制度 訪問介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
要支援1	12	12	12	11	11	12	12	13	11	10	12	13	141
要支援2	10	11	13	12	12	13	11	11	11	11	11	12	138
要介護1	26	28	27	30	30	29	25	24	24	21	21	23	308
要介護2	13	13	12	12	12	11	14	13	10	9	7	8	134
要介護3	4	4	5	5	5	4	7	7	7	5	5	5	63
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	30
計	69	72	73	74	74	73	73	72	67	61	62	67	837

#### ② 障害福祉サービス 利用者人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	3	3	4	3	2	3	3	3	3	2	3	3	35
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	区分4	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	区分6	5	4	4	3	2	2	2	3	3	3	2	3	36
重度訪問	区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
移動支援	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※2020.7～ 行動援護、同行援護休止中

#### (4) 実習生受入れ状況

新型コロナウイルス感染対策により休止

#### (5) 地域貢献事業

新型コロナウイルス感染対策により休止

# 介護予防センター石山・芸術の森 ～ since 1995 ～

## 1. 事業報告総括

介護予防センターの体制強化に伴い、昨年度は「介護予防強化業務」、2021年度は「自主活動化支援事業」が加わり、地域住民が自ら福祉活動を実践するための支援が重要視されるようになりました。介護予防センターの役割としても地域のリーダーの発掘、育成・集いの場づくりがより一層求められることとなりました。それを機に、南区社会福祉協議会を中心に「石山地区福祉のまち推進センター」の活動を見直し、これまで予防センターが担ってきた地域イベントの企画運営を地域住民自らが実施するとともに見守り活動の充実等を図ることができました。また、芸術の森地区においては、単位町内会への訪問を継続し、より関係性を深めていくように活動を展開しました。

次年度においては、ウイズコロナを見据えて、地域福祉の発展のための地域福祉活動が展開できるように柔軟に対応していきます。

### (1) 総合相談支援業務

#### ア 総合相談

地域から気軽に相談が挙がってくるような「顔の見える関係づくり」を目指して予防センターを運営しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大により地域全体の活動自粛や予防センターの活動制限もあったことから、地域との関わりを十分に持つことができませんでした。今後も継続して、地域に一番身近な総合相談の場所としての介護予防センターの役割について、周知・啓発を行っていきます。

地域からの相談としては、介護保険制度や住まいに関する相談が主な相談内容となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出する機会が減り運動不足を訴える相談や新型コロナウイルスワクチン接種の不安についての相談もありました。

#### イ 介護予防が必要な対象者の実態把握及び地域におけるネットワークの構築

地区地域ケア会議等を通じて、地域に埋もれている介護予防の対象者の発掘や地域から広く情報提供を受けるためのネットワークづくりに努めました。また、地域住民向けに「閉じこもり予防」、地域関係機関の役員向けに「予防センターの役割」についてのチラシを作成、配布することで介護予防の普及啓発に努めました。

### (2) 介護予防教室の実施及び介護予防普及啓発業務

#### ア 介護予防教室の実施

転倒予防教室は、札幌市の指針に添った感染予防対策を徹底したうえで再開しました。実施内容としては、接触・密集・飛沫予防を避けるための短縮バージョンでの実施となりました。その後、参加者のニーズによりふまねっと運動の再開等、内容を柔軟に変更し実施しました。また、地域に出向いての啓発活動の機会が限定的となったことから、広報紙「おしゃべり通信」や「介護予防だより」、「介護予防体操の体験会案内」の配布により、介護予防の普及啓発に取り組みました。

屋外限定での介護予防教室開催が可能となった期間には、石山ウォーキングトレイルや地域事業部事務所敷地等において教室を開催しました。教室の開催に向けて、屋外会場を探したことにより、社会資源の新規開拓にも繋がりました。

#### イ 講演会や相談会等の開催

石山地区では、地区社協の協力を得て、当センターの事例紹介を行い、町内会会長や民生委員へ啓発活動を行いました。芸術の森地区では、地区地域ケア会議にて「フレイル予防について」の講話を実施するとともに南老人福祉センター主催の講座でスマイル体操の指導を実施しました。

### (3) 地域介護予防活動支援業務

#### ア 介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援

南区内介護予防センター共催による「運動サポーター養成講座」、「フォローアップ研修」、「自主活動サポート教室」を実施しました。石山地区、芸術の森地区より、フォローアップ研修に2名、自主活動サポート教室に1名の参加があり、地域福祉活動の人材育成に取り組むことができました。

#### イ 介護予防活動における高齢者の役割と活動の場づくりの支援

新型コロナウイルス感染拡大により、活動の場づくりに苦慮しましたが、屋外活動での近隣の散歩では参加者同士が支え合う姿が見られたことや活動の運営に積極的に関わってもらうことで参加者に役割を持っていただくように支援を行いました。

### (4) 専門職と連携した介護予防機能強化業務の実施

#### ア 自主活動を目指した介護予防教室の実施

昨年度の「運動サポーター養成講座」の卒業生を中心に、運動を主な活動とした自主サークルの立ち上げ支援を専門職と連携して実施しました。石山地区では、専門職と連携した介護予防機能強化業務の新規介護予防教室として「あおぞら体操教室」を開催しました。

#### イ 既存団体等における介護予防活動の継続に向けた支援の実施

新たな試みとして、南区内介護予防センターで3つのプロジェクトチーム（普及啓発・体操・介護予防ツール）を作り、介護予防活動推進のための活動を行いました。また、石山地区では介護予防活動の継続に向けた支援として、石山大学にて理学療法士と身体機能に係る効果測定を実施しました。効果測定に対する参加者の反応は大きく、活動の活性化に繋がるものとなりました。

### (5) 地域ケア会議

「地域住民に対する相談先の周知と支援方法」、「通いの場づくり」、「地域役員のネットワークづくり」をテーマに検討を行いました。その中で、介護予防を推進するため「フレイル予防について」の講話を行うとともに「閉じこもり予防」のチラシを作成して配布する等、民生委員・福祉推進委員等の地域の役員との連携強化に努めました。

### (6) 地域貢献

新型コロナウイルス感染拡大により、地域貢献活動の一環として行ってきた「いしやま朝市送迎バス」の運行や石山地区福祉のまち推進センターと共催で実施している「お茶の間懇談会」は2年連続で中止することとなりました。次年度においては、ウイズコロナを見据えて、地域福祉の発展のための地域貢献活動が再開できる方法を検討していきます。

## 2. 事業運営状況

### (1) 専門職の配置状況

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
センター長	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士／介護支援 専門員 併設事業所管理者兼務
ケースワーカー	2	2	0	0	0	社会福祉士1名、社会福祉主事1名

### (2) 年間業務状況

#### ① 地域ケア会議

	主 催	参 加	オンライン (再掲)	書 面 (再掲)
地区地域ケア会議	2		0	0
地区連絡会議	16		4	0
区地域ケア推進会議	2		2	0
区連絡会議	5		0	1
市地域ケア推進会議		0		

#### ② 地域包括支援ネットワーク構築に向けた業務

	主 催	参 加	オンライン (再掲)	書 面 (再掲)
専門職との連携	3	0	3	0
地区組織及び地域の活動体との連携	2	6	0	0
生活コーディネーターとの連携	1	0	1	0
介護予防センター間との連携	31	0	18	0
第1包括C会議	0	1	0	0
区研修会	0	1	1	0

#### ③ 相談事業

##### <相談経路>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2020年
電 話	0	4	2	3	0	4	3	5	0	1	3	2	27	23
訪 問	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
面 接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4	0
計	0	5	2	3	0	4	4	5	1	3	3	2	32	30

<相談種別・割合>

	件 数		2021年度 割合
	2021年度	2020年度	
介護保険制度	6	13	19%
介護保険制度以外	3	0	10%
介護予防	7	10	22%
保健福祉サービス	0	3	0%
認知症について	2	1	6%
心身の健康について	2	3	6%
家族の疾病・障がいに関すること	1	0	3%
住まいについて	3	2	9%
処遇困難	3	0	9%
その他	5	3	16%
計	32	35	

④ 介護予防普及・啓発事業

<転倒予防体操教室 開催状況>

実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
芸術の森会館	-	-	-	1	3	2	2	3	2	1	-	-	14
石山会館	-	-	-	1	2	4	2	2	2	2	-	-	15
アクロスプラザ	1	-	-	2	-	1	4	4	4	2	-	2	20
計	1	-	-	4	5	7	8	9	8	5	-	2	49

延べ参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
芸術の森会館	-	-	-	5	8	5	8	17	13	2	-	-	58
石山会館	-	-	-	15	28	54	32	28	31	29	-	-	217
アクロスプラザ	13	-	-	23	-	7	30	56	53	18	-	28	228
計	13	-	-	43	36	66	70	101	97	49	-	28	503

<介護予防強化事業（立ち上げ支援 参加人数）>

	9/22	9/29	10/8	10/13	11/5	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	1/7	1/21	計
あおぞら教室	14	14	14	11	13	15	13	15	13	7	12	14	155

<自主活動化支援事業（既存団体支援 参加人数）>

	12/1	12/15	1/5	1/15	計
森の寺子屋	-	9	-	-	9
老人クラブ 明正会	-	-	-	19	19
石山大学	15	-	18	-	33

# 相談支援事業所グリーンハイム ～ since 2012 ～

## 1. 事業報告総括

2021年度より相談支援専門員2名体制での事業所運営となりましたが、計画・モニタリング件数は昨年度の3名体制での運営時と同等の月平均69件と予算実績も大幅に上回る結果となりました。ご利用者、事業所に合わせた丁寧な相談支援により、信頼関係を構築することができていることや自立支援協議会南区地域部の部会長として、南区内での活動や札幌市のプロジェクトチームへの参画を通して、幅広い分野の関係者と連携を深めることができたことが事業所の安定運営に寄与するものとなりました。

また、2021年度は、札幌市障がい者相談支援事業実施業務（南区）委託プロポーザルで選考され、2022年度より札幌市障がい者相談支援事業実施業務（南区）を受託することが決定しました。これまで、法人のバックアップを受け、専従の職員を配置し、専門性の向上に努めながら、相談支援の実績を積み上げてきたことが評価されたものと考えます。次年度は、南区内指定相談支援事業所と関係を構築し、事例検討会の開催や定期的な情報交換等を通じて、南区内の相談支援の質の向上に努めていきます。

## 2. 法人の5つの視点に対する取り組み

### (1) 利用者視点

- ・ご利用者一人ひとりの価値観、生活様式等に配慮した相談支援を継続しました。その中で、事業所・ご家族とご利用者のニーズが一致しない場合、関係者と協力し、ニーズの一致に努めました。
- ・ご利用者のエンパワメントの視点に重点を置き、利用者一人ひとりにどこまでの支援が必要かを検討したうえで支援を実施しました。
- ・ご利用者の立場に立ち、ご利用者の意思を尊重したうえで、ケアマネジメントを実施しました。
- ・虐待防止の取り組みとして、虐待疑いやリスクの高いケースについて、早期に行政と情報共有するとともに、障害福祉サービスの再調整等、関係機関と連携した支援を行いました。

### (2) 財務視点

- ・予算件数を大きく上回る計画・モニタリング実績となりました。
- ・モニタリング確認表を作成し、モニタリング期間を正確に把握、モニタリング未実施がないように取り組みました。

### (3) 人材視点

- ・週1回ケースカンファレンスを行い、支援内容の報告、支援の必要性の確認、気持ちの整理等を行うことで、バーンアウトを防ぐように努めました。
- ・相談支援専門員の業務遂行状況に合わせ、定期的な個別面談を行い、相談員が抱えているジレンマ、課題を共有し、課題解決に向けて取り組みました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に対応し、リモートでの研修参加により、専門知識の習得に努めました。

### (4) 地域貢献視点

- ・南区地域部会部会長として、関係機関とともに南区内の障がい福祉の向上に係る活動に取り組みました。

### (5) ガバナンス視点

- ・コンプライアンス対策として、職員個々と定期的な個別面談、業務状況の確認を行い、契約関係書類、経過記録、計画・モニタリング利用者の確認等を徹底しました。

### 3. 事業運営状況

#### (1) 専門職の配置状況

(2021年3月31日現在)

職 種	人数	区 分				備 考
		常 勤		非 常 勤		
		専任	兼務	専任	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士 主任相談支援専門員兼務
主任相談支援専門員	1	0	1	0	0	社会福祉士 管理者兼務
相談支援専門員	1	1	0	0	0	社会福祉士/介護福祉士

#### (2) 職員研修実施状況 (外部研修及び合同事例検討会)

開催日	会議・研修名	主 催	参加職種
2021. 8. 17～18	主任相談支援専門員研修	CM ネット	相談支援専門員 1名
2021. 9. 15	事例検討会	他相談支援事業所	相談支援専門員 2名
2021. 10. 12	相談支援専門員従事者研修 (ファシリテーター)	CM ネット	相談支援専門員 2名
2021. 10. 25	白石区子ども部会研修会	白石区自立支援協議会	相談支援専門員 1名
2021. 10. 25	北区地域部会子ども部会学習会	北区自立支援協議会	相談支援専門員 1名
2021. 11. 12	南区相談支援事業所交流会	南区委託相談室	相談支援専門員 2名
2021. 11. 25	第26回ウェルフェアカフェ in 白石	白石区自立支援協議会	相談支援専門員 1名
2021. 12. 23・24	障がい者差別解消法フォーラム	北海道	相談支援専門員 2名
2022. 1. 26	手稲区地域部会セミナー	手稲区自立支援協議会	相談支援専門員 1名
2022. 3. 15	人材育成とスキルアップ研修	基幹型相談支援事業所	相談支援専門員 2名

#### (3) 利用者状況

##### ① 相談受付状況

紹介経路	基本相談	計画相談	障害児計画相談	地域移行計画相談	計
法人内施設	0	0	0	0	0
法人内事業所	0	0	0	0	0
他相談支援事業所	2	11	0	0	13
医療機関	0	2	0	0	2
ご家族・本人	2	3	0	0	5
行政機関	0	0	0	0	0
その他	0	10	0	0	10
計	4	26	0	0	30

##### ② 相談支援給付件数 (計画、継続支援、地域移行支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
請求件数	75	61	75	74	64	89	62	62	74	65	65	63	829
2020年度	71	66	71	64	56	106	59	60	60	74	75	72	834



